



# 株式会社NITTAN（6493） 2024年3月期第2四半期決算説明会

2023年12月7日

代表取締役社長      リ   テーファン  
李                      太   煥

**1部：当社概要**

**2部：2024年3月期第2四半期決算及び  
通期業績見通し**

**3部：中長期戦略及び新たなトピックスについて**

# 第1部：当社概要

1. **会社概要**
2. **沿革**
3. **事業領域**
4. **生産拠点**
5. **売上高及び事業セグメント別比率**
6. **国内・海外 主要お取引先様比率**
7. **エンジンバルブ当社推定シェア(グローバル)**

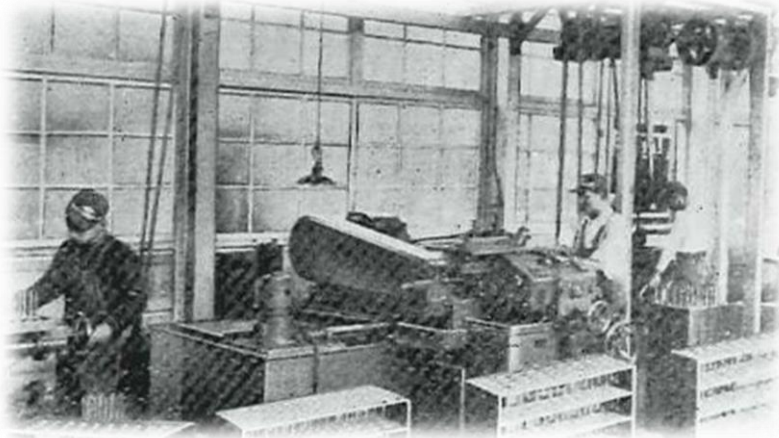
# 1. 会社概要



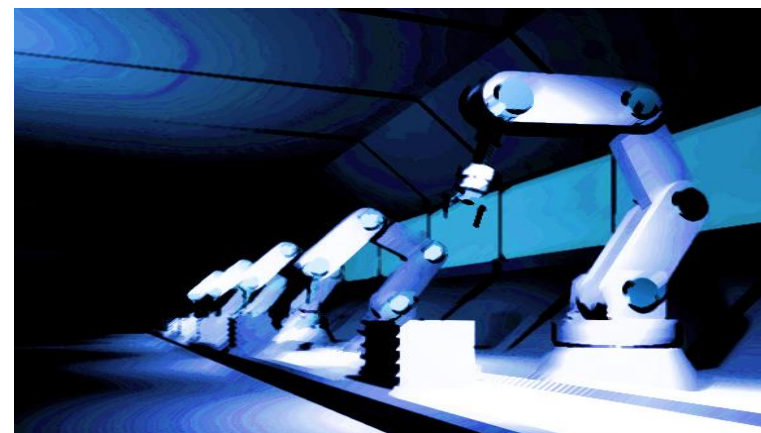
本社所在地	秦野本社：神奈川県秦野市曾屋518番地 東京本社：東京都新宿区西新宿8-4-2 野村不動産西新宿ビル2階
設立	1948年11月10日
資本金	45億3,054万円（2023年3月期）
代表者	代表取締役社長 李 太煥
従業員数	2,469名（国内：700名、海外：1,769名）
年商	連結：418億円（2023年3月期）



## 2. 沿革 since 1948



75年間培ってきた鍛造・盛金・接合・加工技術をコア技術として発展させ  
“NITTAN Challenge 10”の達成により、さらなる事業領域へ



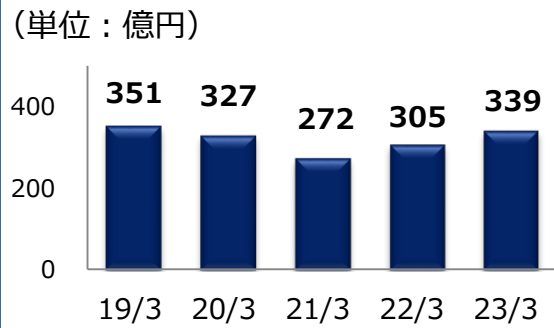
\* NITTAN Challenge 10 : 新しいNITTANの中長期経営VISION (以下NC10と記する)

# 3. 事業領域

## 小型エンジンバルブ事業



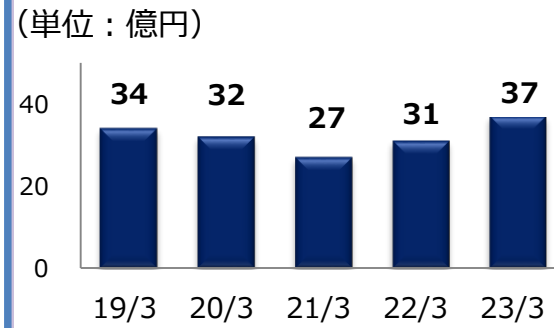
小型エンジンバルブ事業売上高（連結）



## 船用部品事業



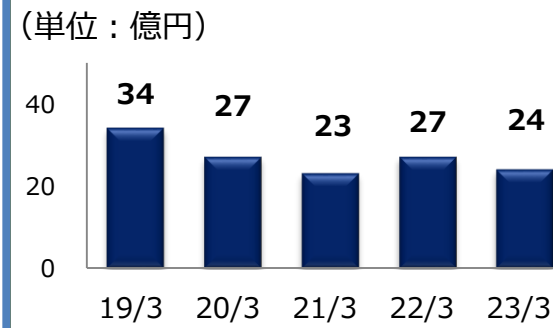
船用部品事業売上高（連結）



## 歯車事業

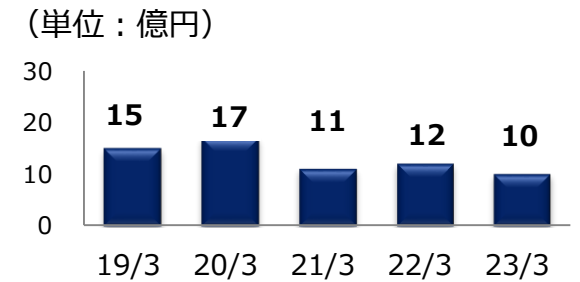


歯車事業売上高（連結）



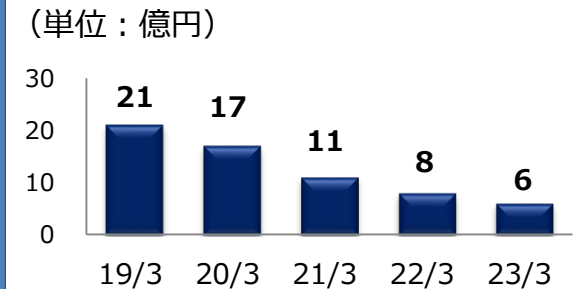
## PBW事業

PBW事業売上高（連結）



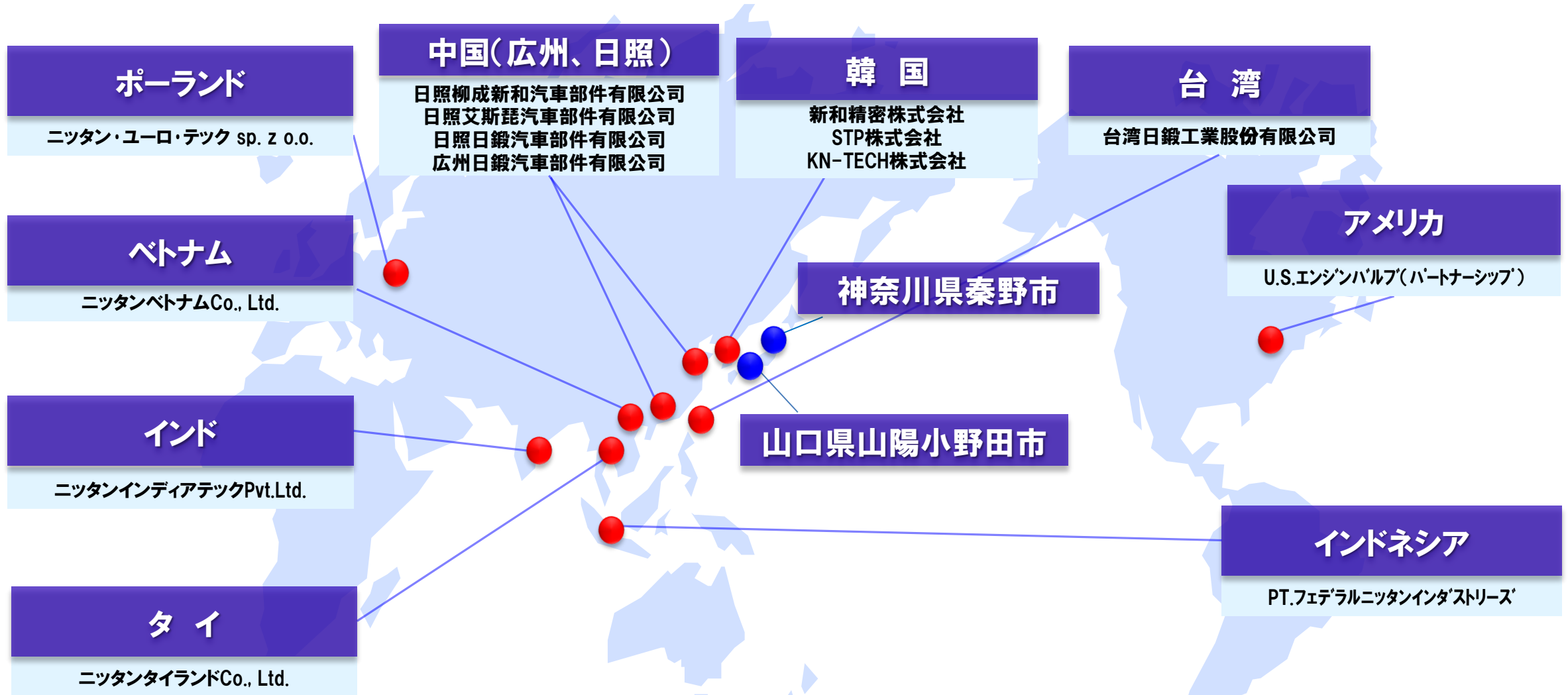
## その他事業

その他事業売上高（連結）



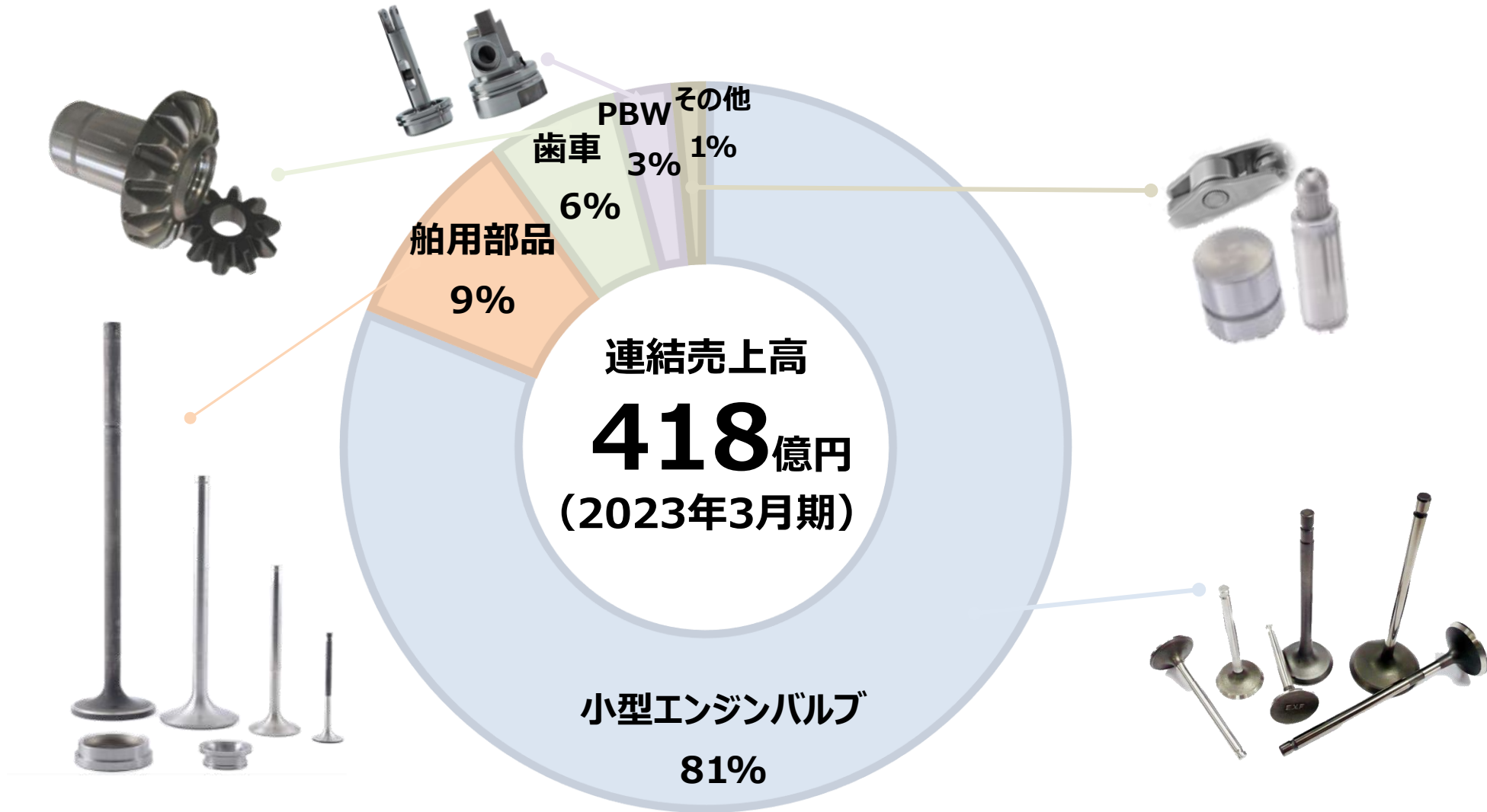
■ 5つの事業領域で構成されている

# 4. 生産拠点 (●国内, ●海外)



■ 国内2拠点、海外14拠点 (アセアン・アジア : 12、北米・欧州 : 2) を設けている

# 5. 売上高及び事業セグメント別比率



■ NC10開発アイテムの拡販により事業の多角化を目指している

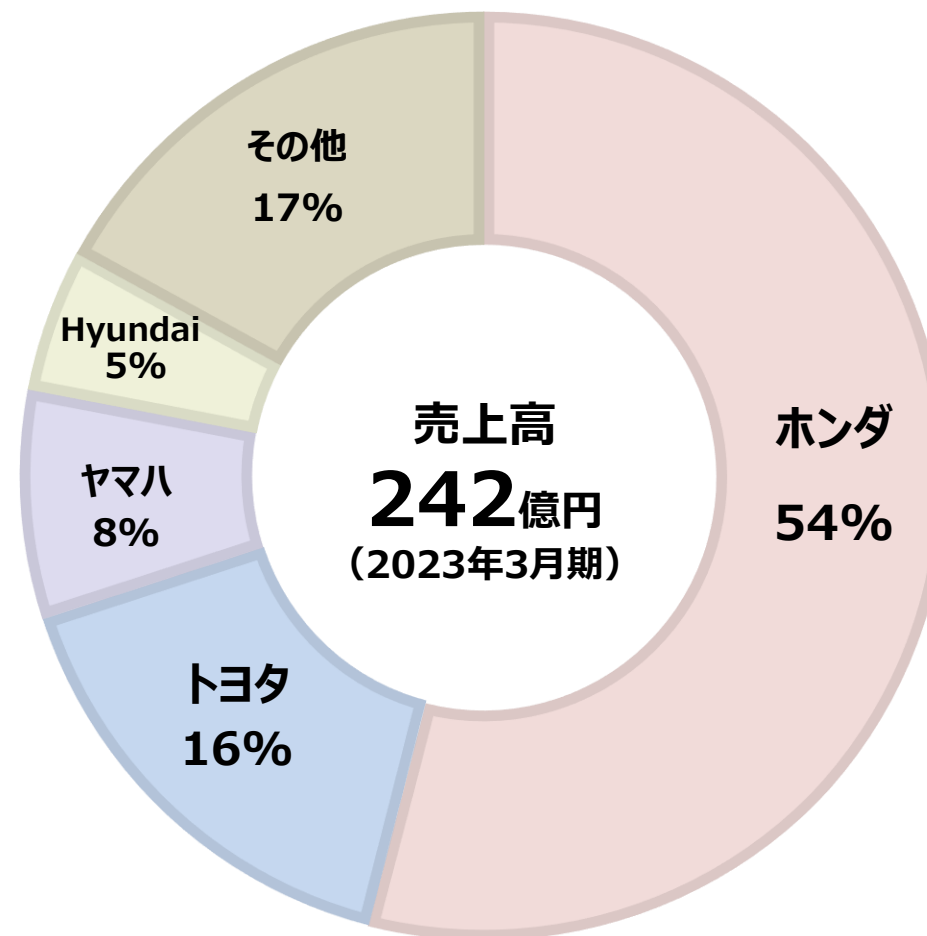
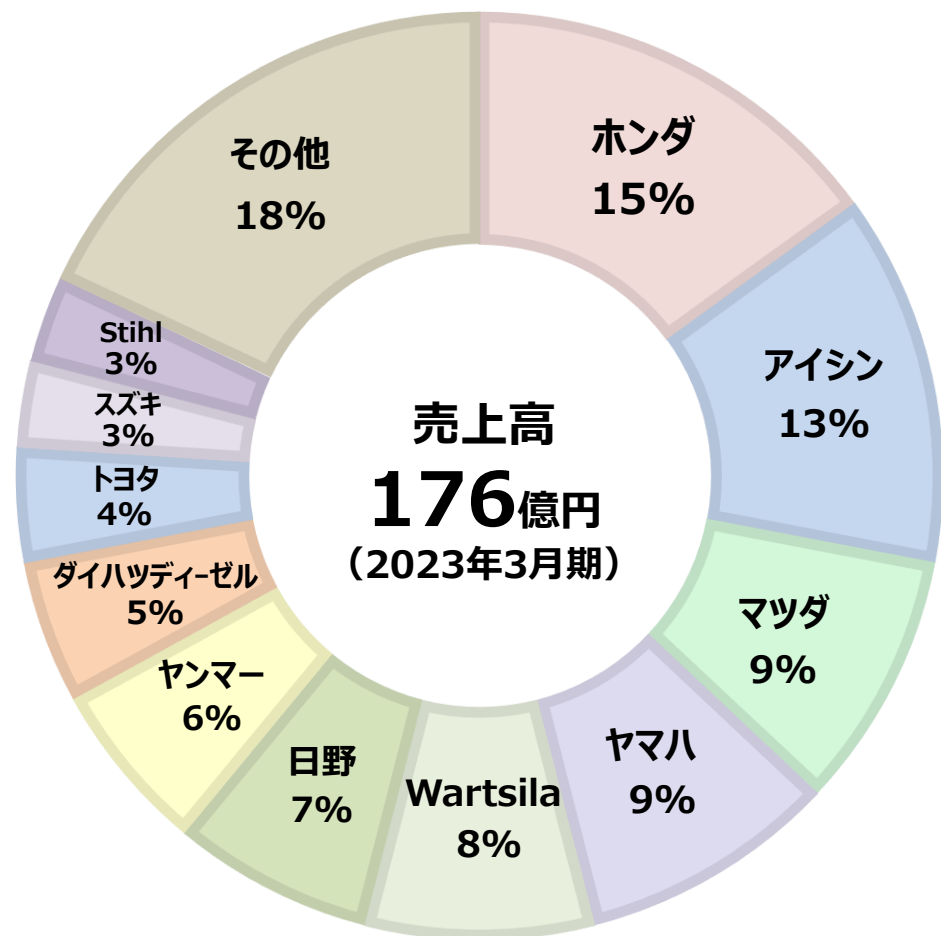


## 6. 国内・海外 主要お取引先様比率（連結売上高）

【敬称略】

### 【国内】

### 【海外】

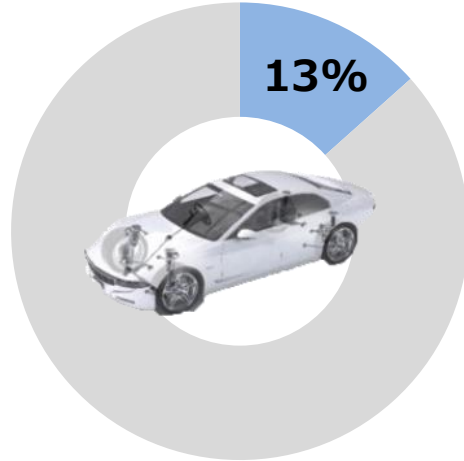


■ 系列に属さない強み

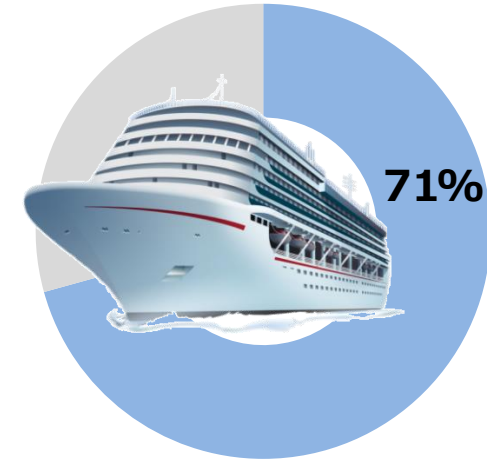
■ 地産地消のニーズに応えている

# 7. エンジンバルブ当社推定シェア(グローバル)

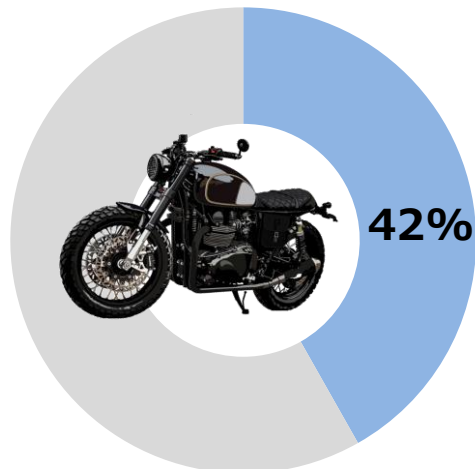
## 4輪向け



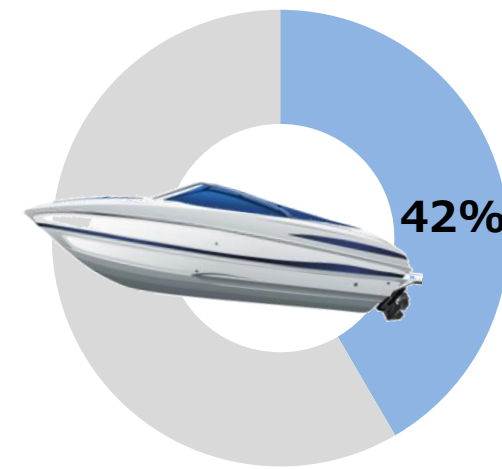
## 船用中速エンジン向け



## 2輪向け



## 船外機向け



■ 各領域のトップシェアのお客様と取引がある

- 1. 第2四半期業績**
- 2. 通期業績見通し**

# 1-1. 2024年3月期第2四半期業績総括



(単位：百万円)

	22年3月期 上期実績	23年3月期 上期実績	24年3月期 上期予想 5/12発表数値	24年3月期 上期実績	前年同期比 (左：金額、右：率)		予想比 (左：金額、右：率)	
					金額	率	金額	率
売上高	19,206	20,355	23,700	24,841	4,486	+22%	1,141	+5%
営業利益	1,320	354	690	1,068	714	+201%	378	+55%
営業利益率	6.9%	1.7%	2.9%	4.3%				
経常利益	1,346	557	720	1,304	747	+134%	584	+81%
四半期純利益(*)	552	△45	230	423	468	-	193	+84%

海外関係会社 連結決算適用レート		22年3月期 上期実績	23年3月期 上期実績	24年3月期 上期予想	24年3月期 上期実績
USドル	円/USD	110.61	136.69	132.70	144.99
人民元	円/RMB	17.12	20.39	19.02	19.95

24年3月期上期実績に 含まれる為替影響 (23年3月期上期実績レート比)	
売上高	646
営業利益	12

(\*) 「四半期純利益」は「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指す

- 半導体不足等に起因する自動車業界全体の生産調整は解消傾向にあり増収
- 原材料・エネルギー価格上昇分の販売価格反映への取り組みにより増収増益
- 為替の円安影響により増収増益

# 1-2. 事業セグメント別業績



(単位：百万円)

	22年3月期 上期実績			23年3月期 上期実績			24年3月期 上期予想			24年3月期 上期実績		
	売上高	利益	利益率 (%)	売上高	利益	利益率 (%)	売上高	利益	利益率 (%)	売上高 (前期比)	利益 (前期比)	利益率 (%)
小型エンジン バルブ	15,265	1,229	8.1	16,322	376	2.3	19,450	607	3.1	20,562 (+26%)	763 (+103%)	3.7
船用部品	1,548	58	3.8	1,823	5	0.3	2,177	94	4.3	1,997 (+10%)	31 (+518%)	1.6
歯車	1,326	△32	△2.5	1,313	△149	△11.3	1,324	△51	△3.9	1,257 (-4%)	△41 (-)	△3.3
PBW	633	13	2.1	542	42	7.8	503	△10	△2.1	654 (+21%)	147 (+250%)	22.5
その他	434	48	11.1	355	△15	△4.3	246	△33	△13.5	371 (+5%)	66 (-)	17.7

※上記の利益は事業別のセグメント利益

- 小型エンジンバルブ：各地域における受注回復や円安影響により増収増益
- 船用部品：船舶用補用部品の受注増加により増収増益
- 歯車：自動車用製品の本格的な受注回復に至らず減収も、販売価格反映により損失の減少
- PBW：受注は減少傾向、販売価格反映と原価改善により増益

# 1-3. 所在地別業績



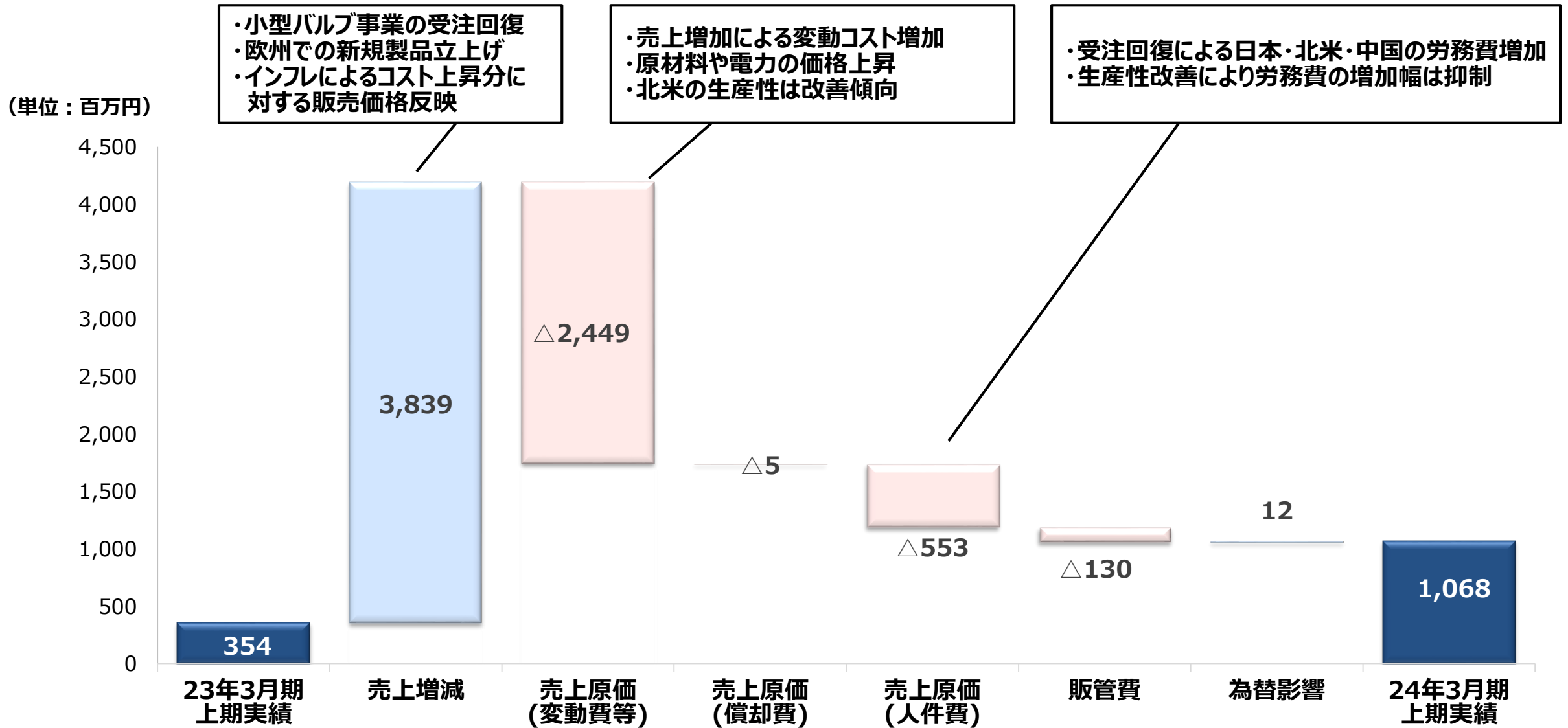
(単位：百万円)

	22年3月期 上期実績			23年3月期 上期実績			24年3月期 上期予想			24年3月期 上期実績		
	売上高	利益	利益率 (%)	売上高	利益	利益率 (%)	売上高	利益	利益率 (%)	売上高 (前期比)	利益 (前期比)	利益率 (%)
日本	9,025	28	0.3	8,561	△522	△6.1	10,230	△28	△0.3	9,830 (+15%)	△205 (-)	△2.1
アジア	7,123	1,321	18.5	7,907	1,231	△15.6	7,727	1,111	14.4	8,301 (+5%)	1,446 (+17%)	17.4
北米	2,689	△14	△0.5	2,970	△432	△14.5	4,567	△494	△10.8	5,342 (+80%)	△274 (-)	△5.1
欧州	369	△31	△8.4	917	△16	△1.8	1,176	29	2.5	1,368 (+49%)	95 (-)	6.9

※上記の利益は所在地別のセグメント利益

- 日本 : 半導体不足等による生産調整は解消傾向にあり、販売価格反映により増収
- アジア : タイは受注減少であるが、他の地域は堅調な売上を維持し増収増益
- 北米 : 現地顧客の販売増により大幅増収、雇用問題は残っているが、生産効率改善により損失減少
- 欧州 : 新規製品立上げによる増収により黒字化を実現

# 1-4. 連結営業利益増減要因



# 1-5. 連結貸借対照表



(単位：百万円)

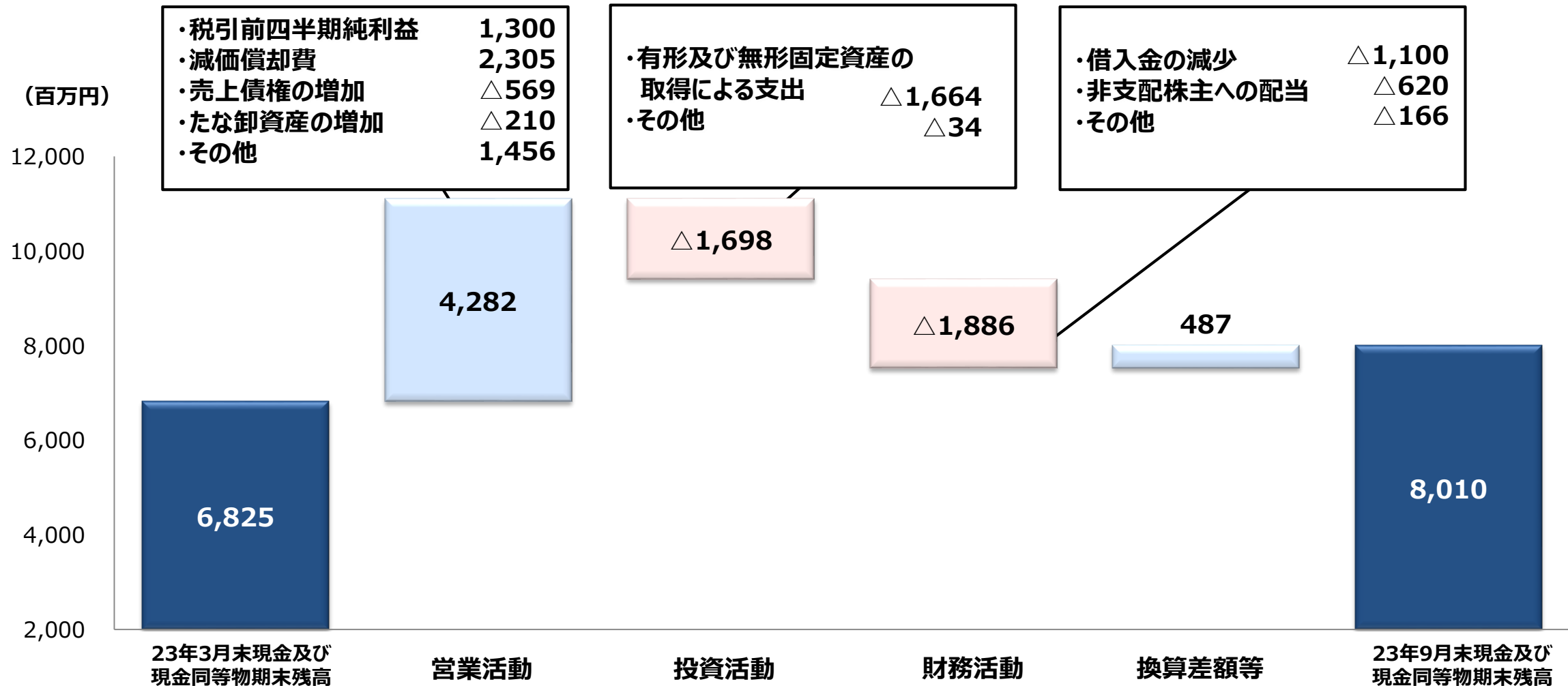
科目	23年3月期 期末	24年3月期 上期	増減	科目	23年3月期 期末	24年3月期 上期	増減
<b>資 産 の 部</b>				<b>負 債 の 部</b>			
流動資産	24,695	27,487	2,792	流動負債	12,540	14,505	1,965
現金及び預金	6,825	8,010	1,185	固定負債	11,389	11,336	△53
受取手形及び売掛金	8,068	8,939	871	負債合計	23,929	25,841	1,912
たな卸資産	8,730	9,333	603	<b>純 資 産 の 部</b>			
その他流動資産	1,072	1,205	133	株主資本	22,543	22,894	351
固定資産	32,212	34,548	2,336	その他の 包括利益累計額	2,407	4,766	2,359
有形固定資産	24,041	24,092	51	非支配株主持分	8,028	8,534	506
無形固定資産	617	660	43	純資産合計	32,978	36,194	3,216
投資その他の資産	7,554	9,796	2,242	負債及び純資産合計	56,907	62,035	5,128
資産合計	56,907	62,035	5,128				

- 資産の部：為替の円安影響に伴う全体的な増加や保有株式の株価上昇
- 負債の部：仕入債務が増加、フリーCFを原資に返済を進め借入金は減少
- 純資産の部：資産の部の増加要因に比例して為替換算調整勘定や有価証券評価差額金が増加

自己資本比率  
 23年3月期期末：43.8%  
 24年3月期上期：44.6%



# 1-6. 連結キャッシュ・フロー



- 営業活動による収入は売上増加により前年同期比で増加
- 設備投資や借入れの返済による支出はあるが期末キャッシュ残高は増加

## 2-1. 2024年3月期通期業績見通し総括



(単位：百万円)

	22年3月期 実績	23年3月期 実績	24年3月期 予想(10月31日発表)	増減額 (前期比)	
売上高	38,669	41,876	48,100	6,224	+15%
営業利益	1,963	1,440	2,500	1,060	+74%
営業利益率	5.1%	3.4%	5.2%		
経常利益	2,106	1,759	2,750	991	+56%
当期純利益 (* 1)	644	391	1,250	859	+219%
業績見通し適用レート	22年3月期 実績	23年3月期 実績	24年3月期 予想		
(参考) USドル 円/USD	115.02	132.70	132.70		
人民元 円/RMB	18.07	19.02	19.02		

(\*) 「当期純利益」は、「親会社に帰属する当期純利益」を指す

- 世界自動車生産は回復傾向にあり、インフレ分の販売価格反映により、増収増益の見通し  
(営業利益・経常利益・純利益を上方修正)
- 想定為替レートは、期首計画レートを据え置きとしており、円安が続けば業績にはプラス影響が見込まれる  
(147.09円/USD(23年11月末レート)の場合、売上高+3,100百万円、営業利益+200百万円の影響と試算)

## 2-2. 事業セグメント別業績見通し

	22年3月期 実績			23年3月期 実績			24年3月期 予想(10月31日発表)		
	売上高	利益	利益率 (%)	売上高	利益	利益率 (%)	売上高 (前期比)	利益 (前期比)	利益率 (%)
小型エンジンバルブ	30,568	1,868	6.1	33,972	1,295	3.8	39,924 (+18%)	2,198 (+70%)	5.5
舶用部品	3,184	89	2.8	3,762	91	2.4	4,036 (+7%)	10 (-89%)	0.2
歯車	2,781	△63	△2.3	2,446	△309	△12.6	2,557 (+5%)	△84 (-)	△3.3
PBW	1,262	68	5.4	1,059	113	10.7	994 (-6%)	124 (+10%)	12.5
その他	874	△10	△1.1	637	50	7.8	589 (-8%)	107 (+114%)	18.2

※上記の利益は事業別のセグメント利益

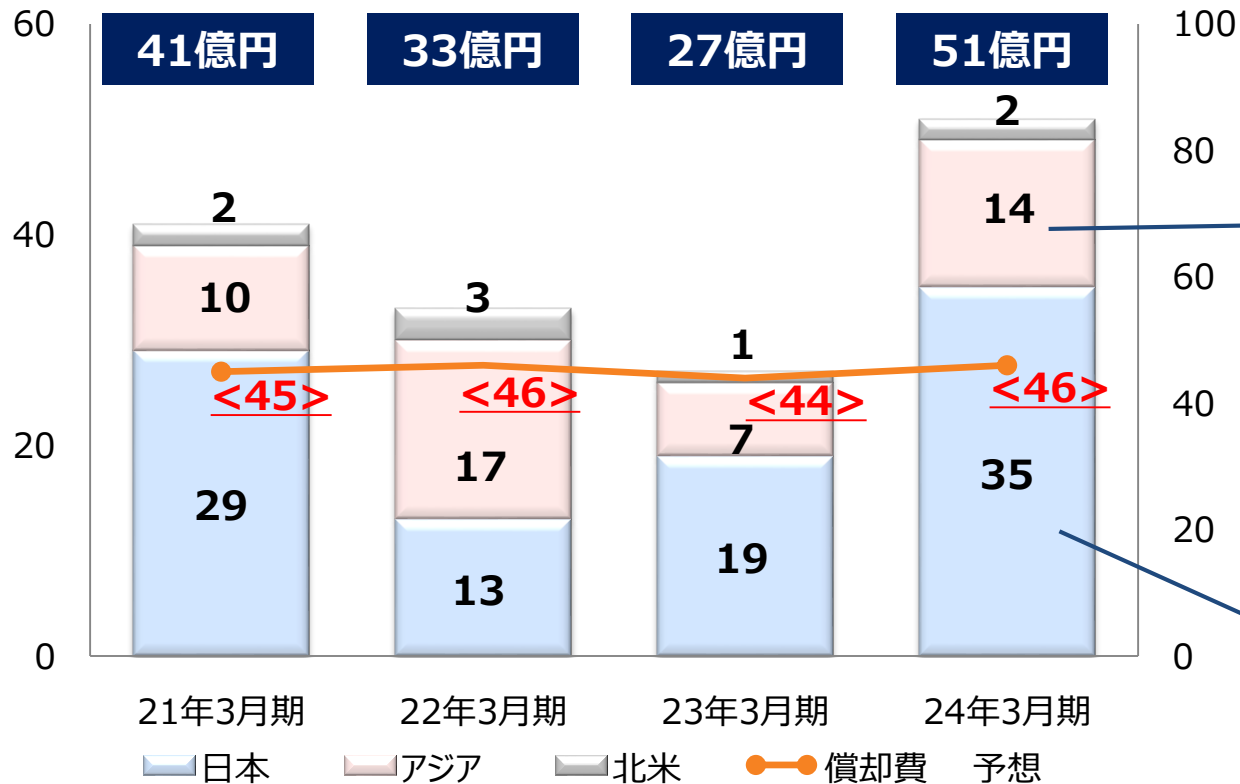
- 小型エンジンバルブ：世界自動車生産は回復傾向にあり、日本・北米中心に増収
- 舶用部品：受注は好調を維持する見込み、先行投資的支出と販売価格反映の遅れにより減益
- 歯車：受注の回復は遅いが、生産性改善活動の進捗に加え販売価格反映もあり赤字幅は減少
- PBW：受注は減少傾向であるが、販売価格反映により増益

## 2-3. 設備投資・減価償却費

設備投資  
(億円)

### <設備投資額・減価償却費>

償却費  
(億円)



#### 【アジア】

- ・ 中国（日照） 軸中空バルブ設備
- ・ 中国（広州） 鏡面化バルブ設備（増産対応）
- その他、自動化投資や更新投資

#### 【日本】

- ・ 自動化・省人化投資
- ・ ソーラーパネル設置、工場リフォーム計画
- ・ NC10関連投資は8億円の計画
- ・ 部品不足の影響により前期から繰り越した工事も多く、投資額は前年度の2倍弱の見通し

償却費対売上高比率	13.0%	11.8%	10.4%	9.5%
-----------	-------	-------	-------	------

(下線\_数値：減価償却費)

- 前期からの繰越投資(約20億円)やNC10関連投資（8億円）計画もあり、前年比でほぼ倍増の計画
- ソーラーパネル設置も複数拠点で計画進行中

## 2-4. 配当の状況

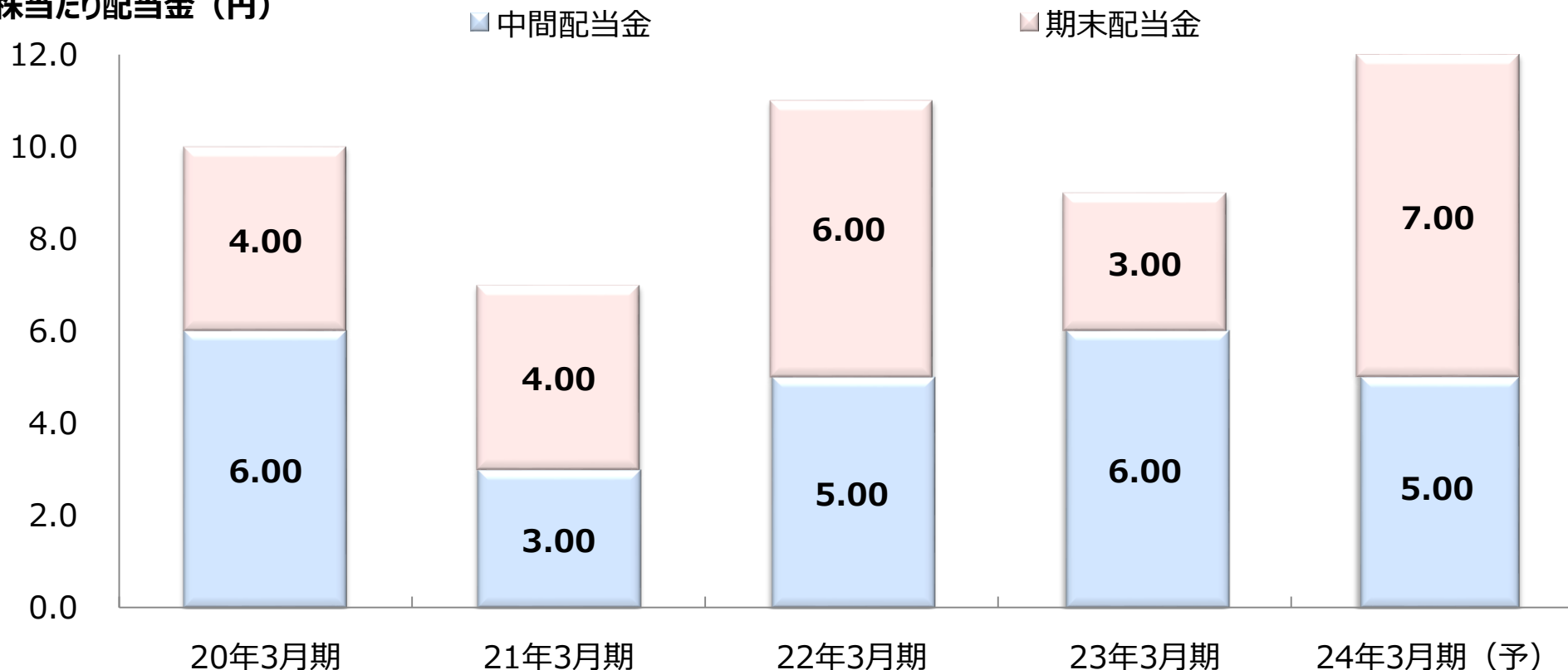
### <中間配当>

基準日 : 2023年9月30日

配当金 : 1株あたり金5円 ※期末配当7円を合わせ年間12円を予定しております。

支払日 : 2023年12月5日

1株当たり配当金 (円)



連結EPS	14.94	23.33	22.39	13.60	43.56 (予)
-------	-------	-------	-------	-------	-----------

- 1. 中期経営計画**
- 2. NC10達成に向けた取り組み**
- 3. カーボンニュートラル達成に向けた取り組み**
- 4. DXを活用したスマートファクトリーへの挑戦**

# 1. 中期経営計画



(単位：百万円)

	'20年度	'21年度	'22年度	'23年度 (予測)	'23年度 (目標)	'24年度 (目標)	'25年度 (目標)
売上高	34,705	38,669	41,876	48,100	48,100	52,300	52,600
営業利益	18	1,963	1,440	2,500	2,200	4,500	4,500
ROS	0.1%	5.1%	3.4%	5.2%	4.6%	8.6%	8.6%
当期純利益	670	644	391	1,250	1,080	2,420	2,580
ROE	3.0%	2.8%	1.6%	3.8%	3.3%	7.3%	7.8%

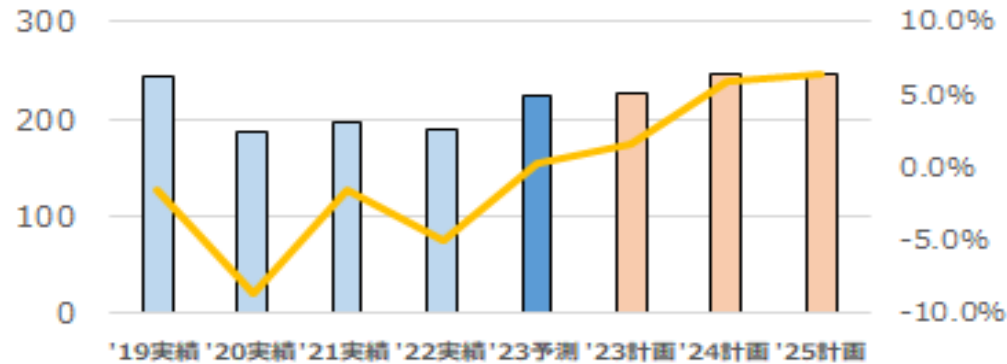
- 全事業の黒字化でROE 8%以上を目指す
- 既存事業の安定的なキャッシュをNC10へ投資する
- 収益性の向上、投資効率を高めPBRの改善を目指す

# 1. 中期経営計画 拠点別 売上高 & 営業利益率



## 【日本】

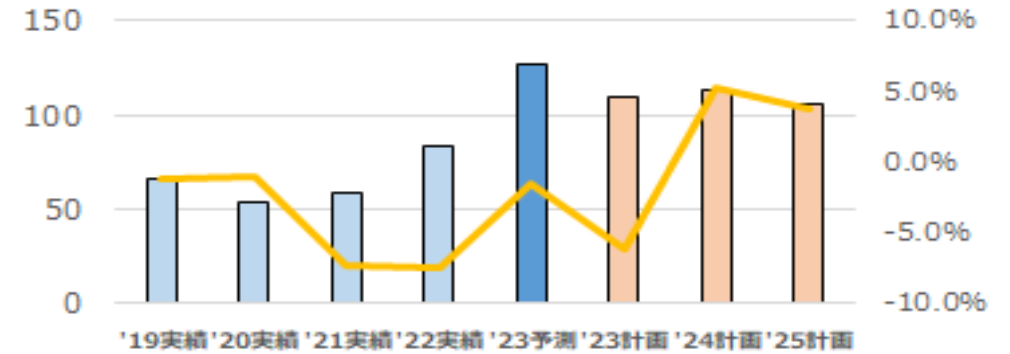
単位：億円



■ VISION I & II の開発と段階的な立上げ

## 【北米・欧州】

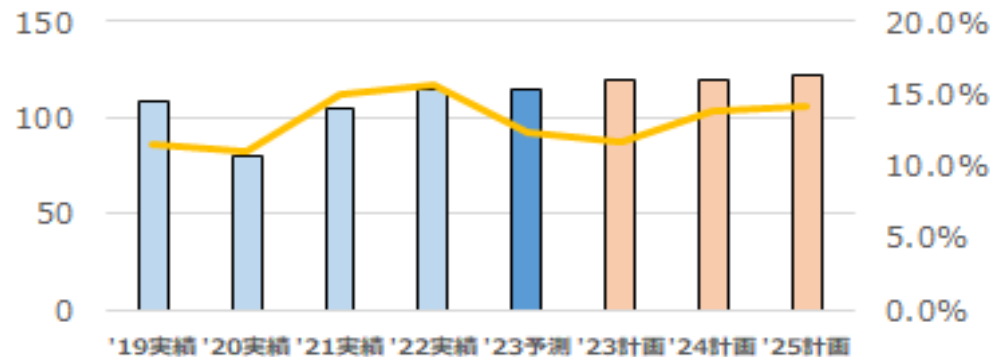
単位：億円



■ 市場変化に合わせた生産拠点戦略の推進

## 【アセアン・インド・台湾】

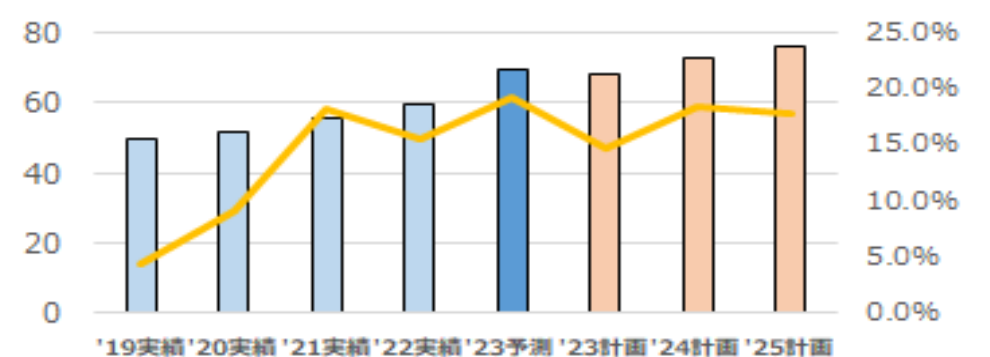
単位：億円



■ 市場変化に対応した安定的な収益確保

## 【中国】

単位：億円



■ 付加価値製品の拡大と安定的な収益確保



## 新しい「NITTAN」の中・長期経営VISION

売上高  
1,000億円以上

営業利益額  
100億円以上

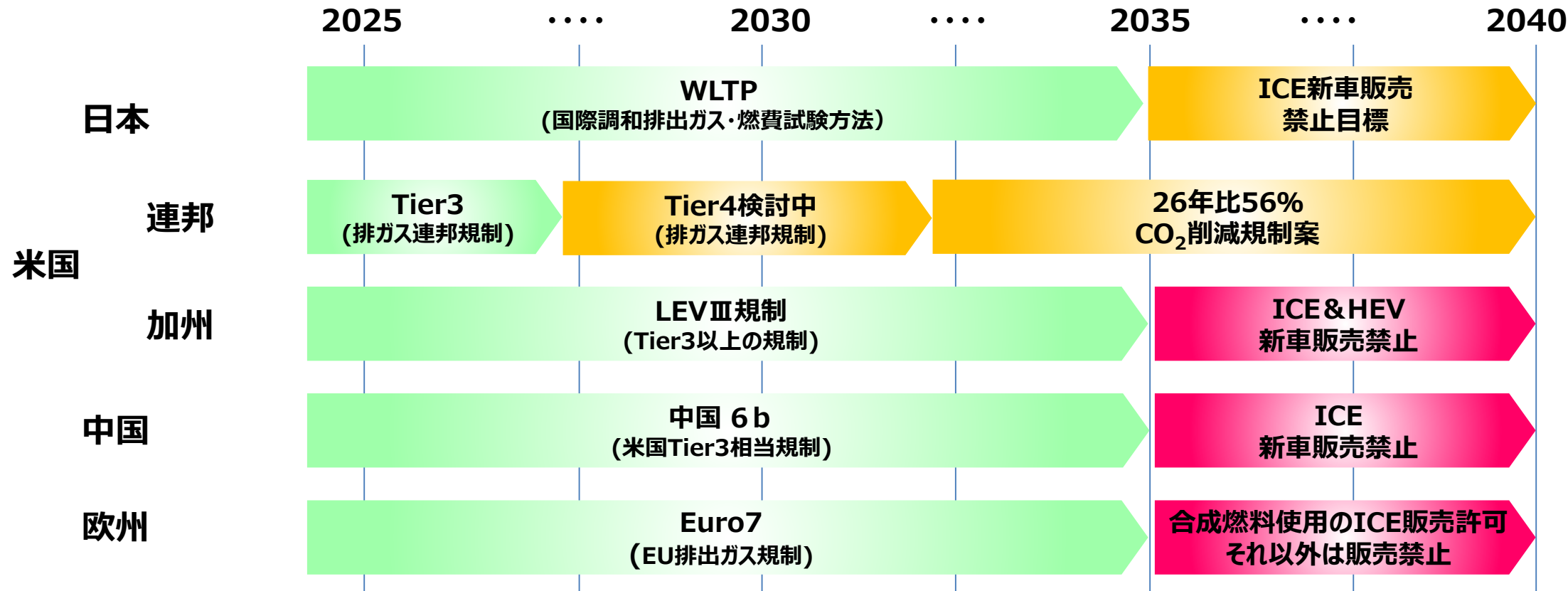
ROS  
10%以上

### NITTAN Challenge10



## 2-2. 主要自動車市場の規制動向

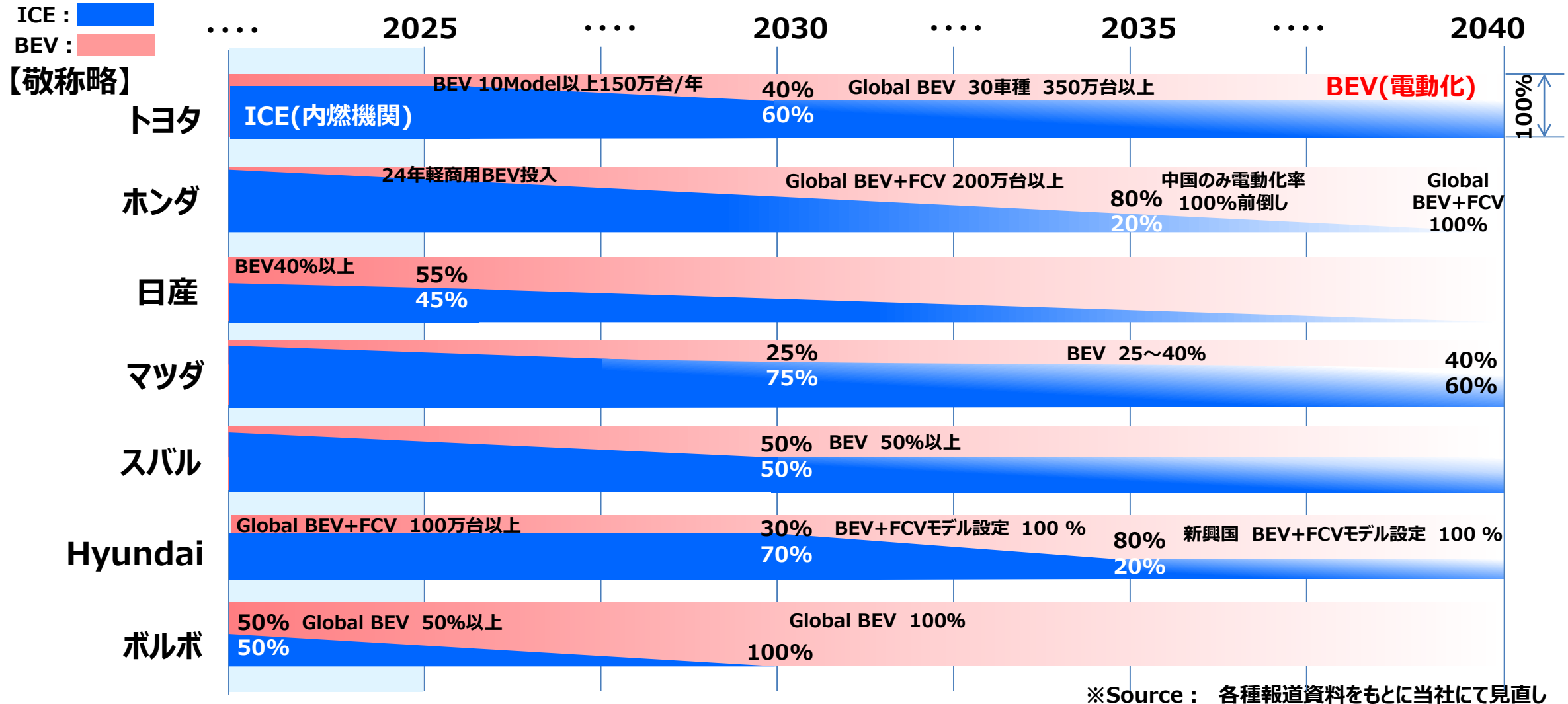
排ガス・燃費規制 → 販売規制 → 規制案、目標



※Source : AM\_Word、JAE自動車技術他、報道資料をもとに当社にて見直し

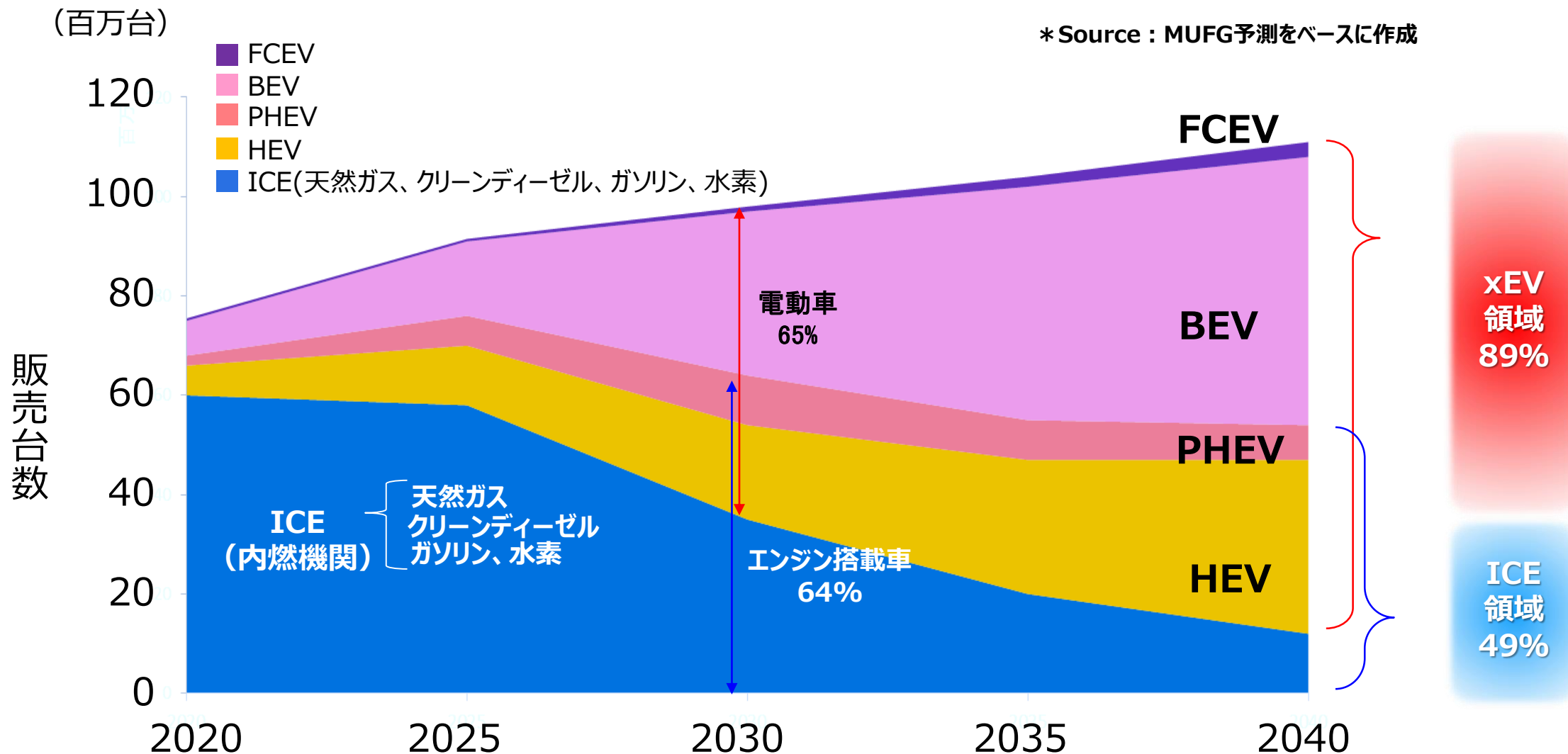
- 米国では新たにTier4排ガス規制を検討中であり、各自動車メーカーへの影響が懸念される
- 英国もガソリン車販売禁止を2035年に延期し、欧州の足並みは揃いつつある

## 2-3. 自動車メーカー 電動化の動向



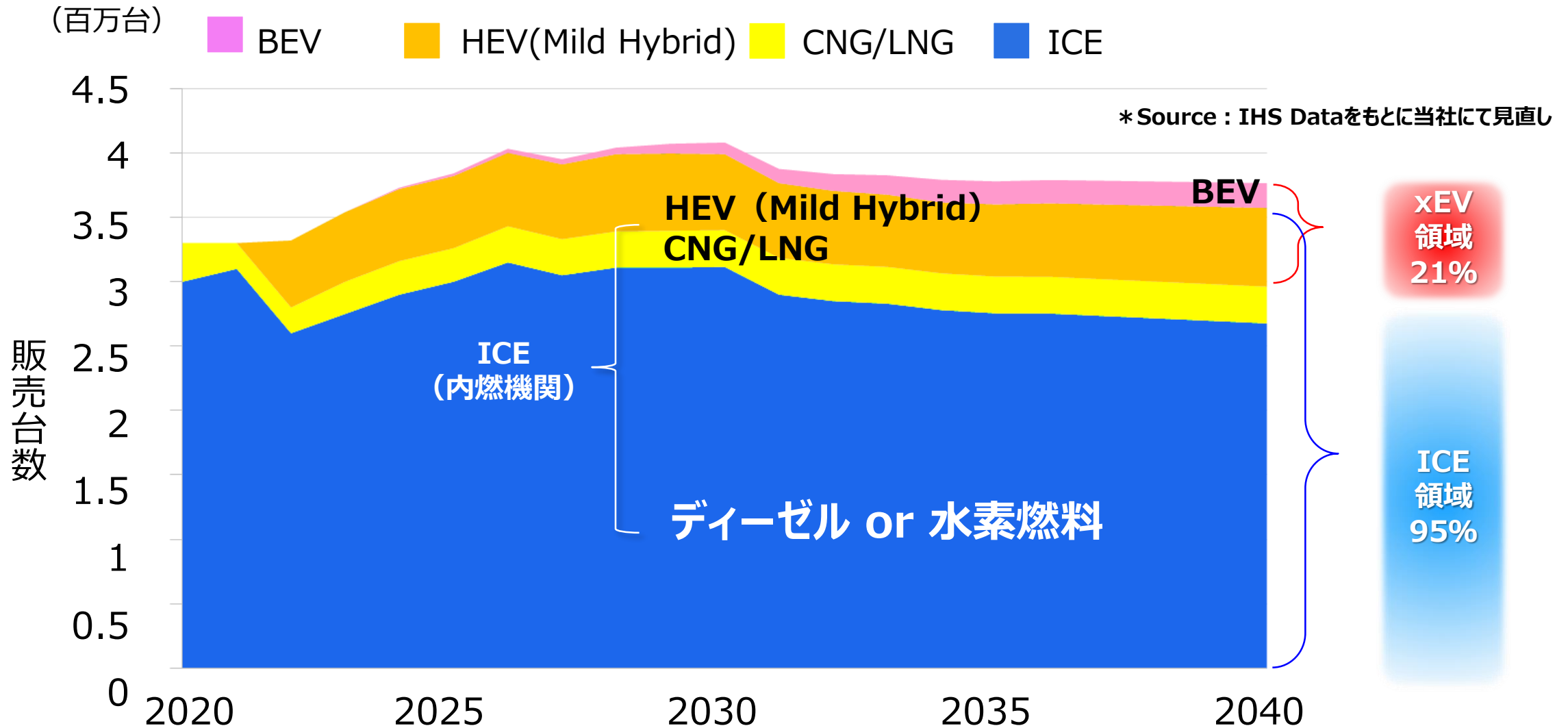
■ 各社まちまちの戦略、NC10開発をもって、自動車業界のカーボンニュートラル実現に貢献する

# 2-4. 乗用車 パワートレイン予測 -2020~2040-



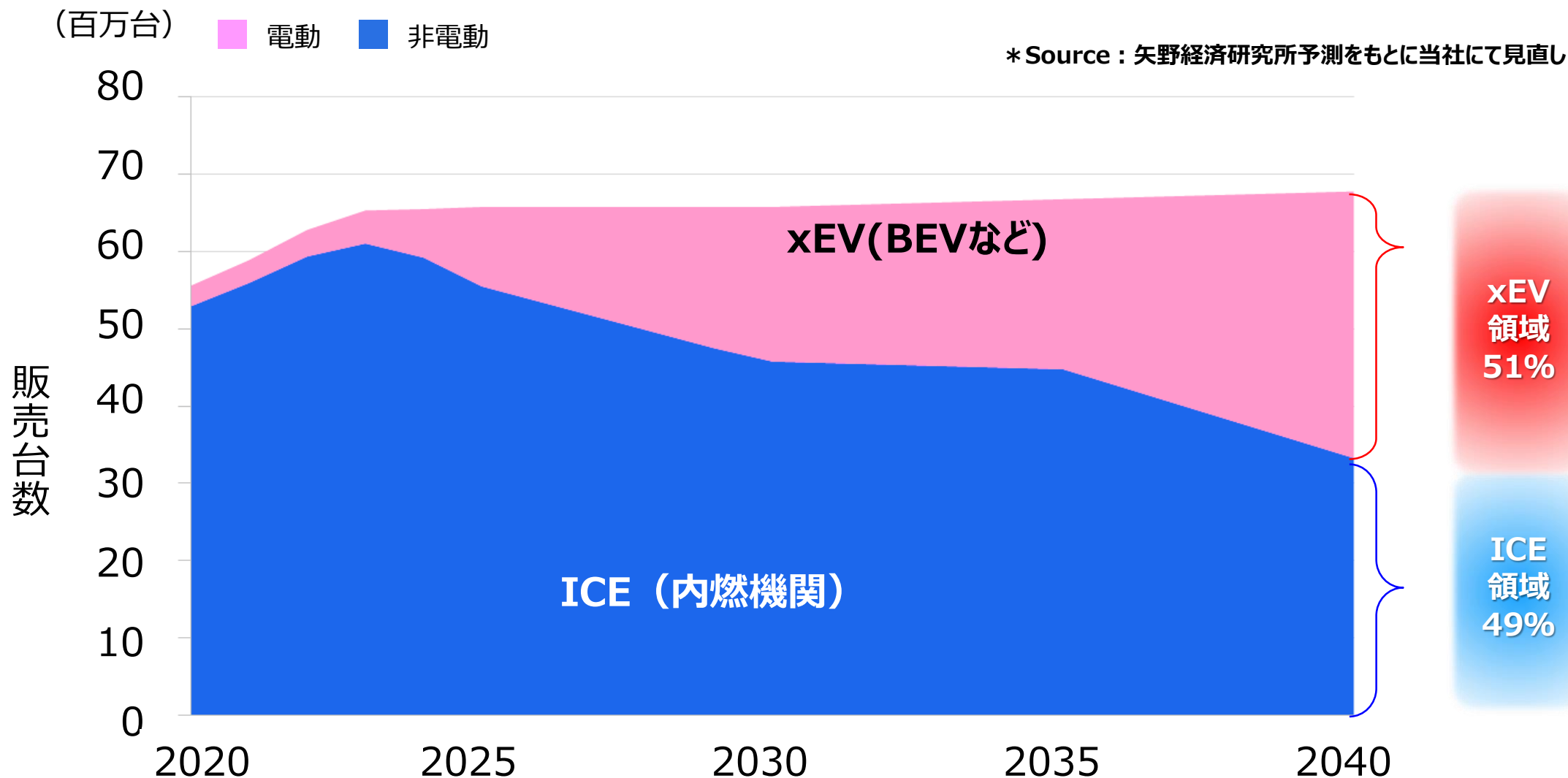
■ 早ければ2030年にも電動車が主流となっていくが、ICE(内燃機関)も一定数残ると予想される

# 2-5. 商用車 パワートレイン別販売予測 2020~2040



■ 当面はICE(内燃機関)が主流であり、電動化への切替わりについては、時間がかかる見込み

## 2-6. 自動2輪 パワートレイン予測 -2020~2040-



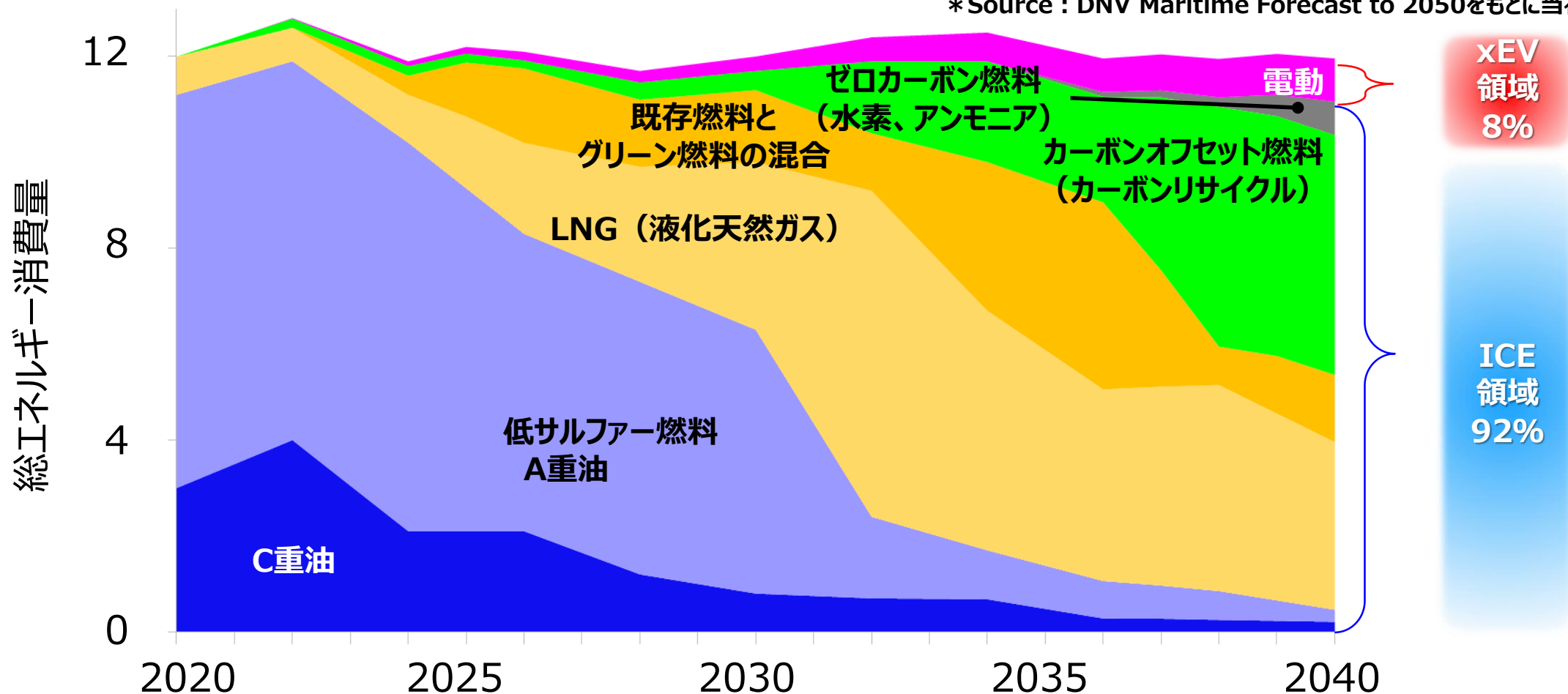
■スクーター系はEV移行が加速すると考えられるが、スポーツ系などでICEも一定数残ると予想される

# 2-7. 船舶 パワートレイン燃料予測 2020~2040

※EJ(エクサジュール) = 10<sup>18</sup>J

(EJ/年) ■ C重油 ■ A重油 ■ LNG ■ 混合燃料 ■ CO燃料 ■ ゼロカーボン燃料 ■ 電動

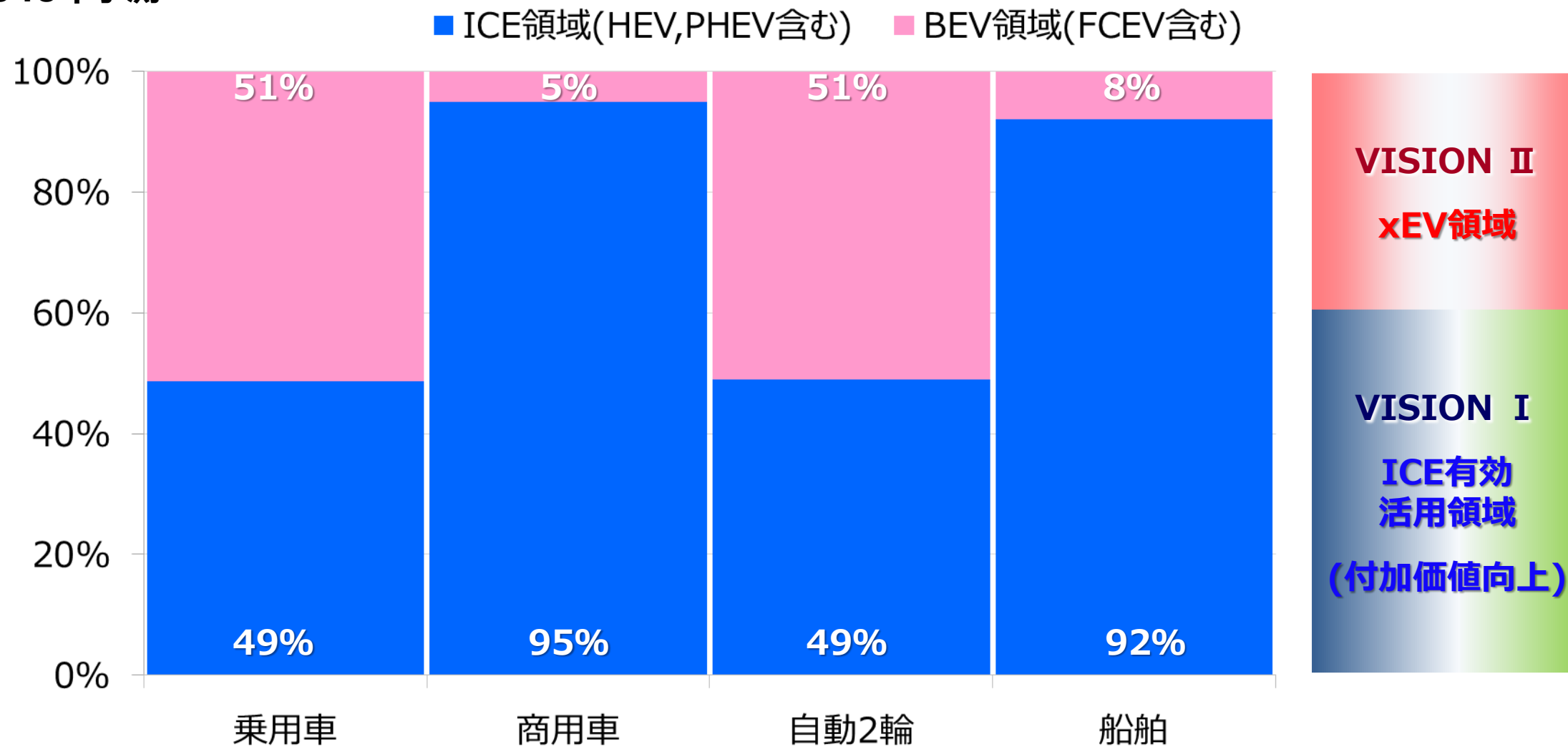
\* Source : DNV Maritime Forecast to 2050をもとに当社にて見直し



■ 船用業界は電動化の動きよりは、GHG(温室効果ガス)フリー対応技術がメインになる見込み

## 2-8. パワートレイン動向予測 まとめ

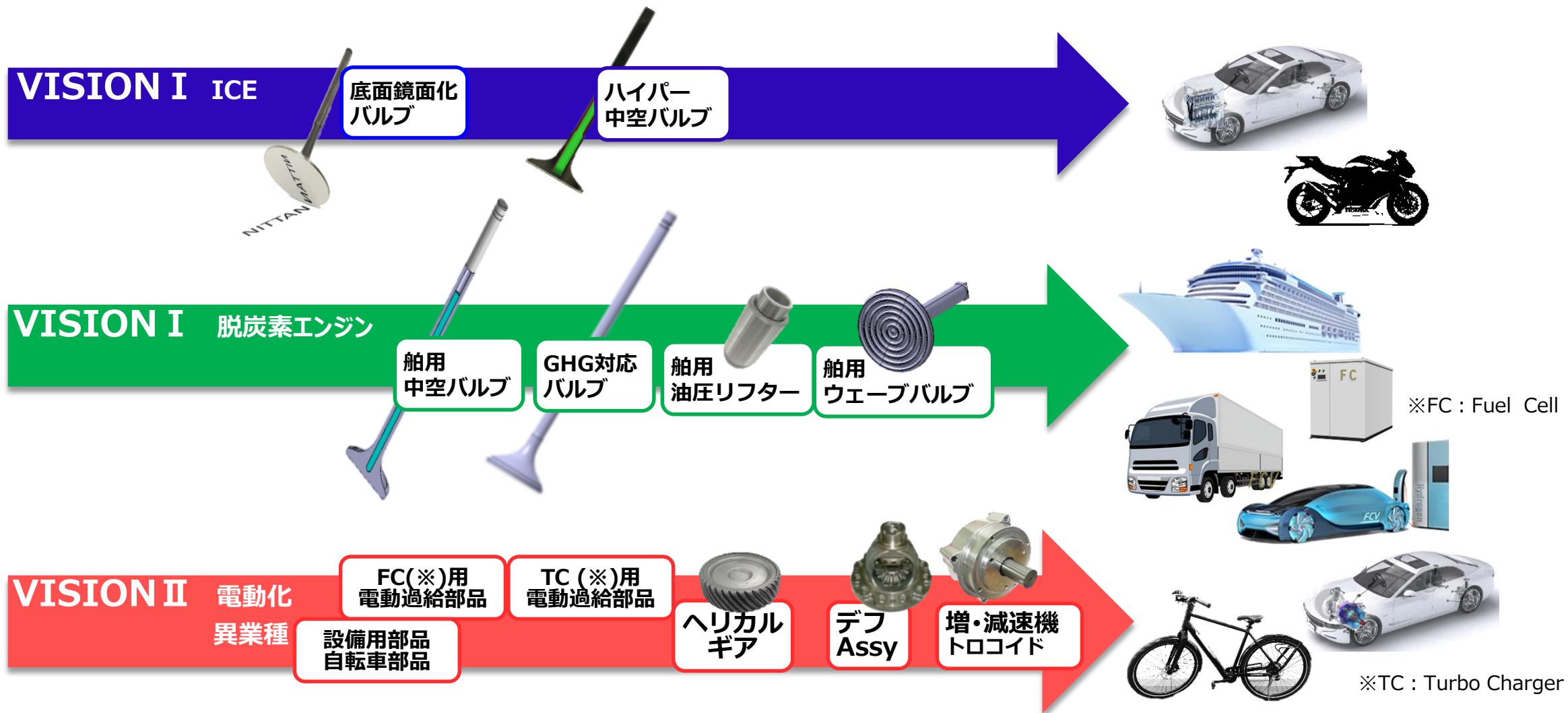
2040年予測



■ 乗用車、自動2輪車で電動化が進むが、業界によってはICE領域も依然として多く残る予測



## 2-9. NC10開発のターゲットアイテム



■ 各国規制や各業界の市場動向の変化に適応したターゲットアイテムの開発を推進している

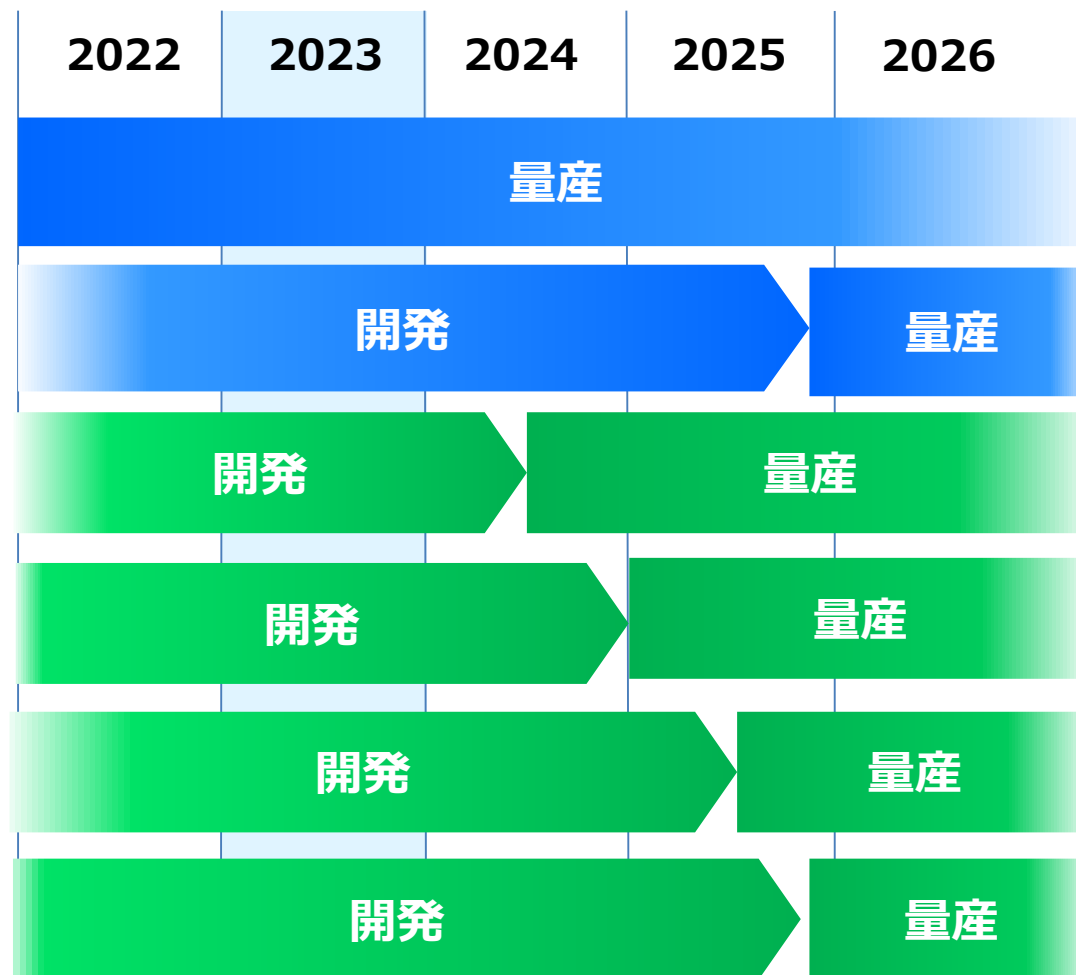
## 2-10. VISION I (ICE領域)の開発状況

### NC10開発アイテム



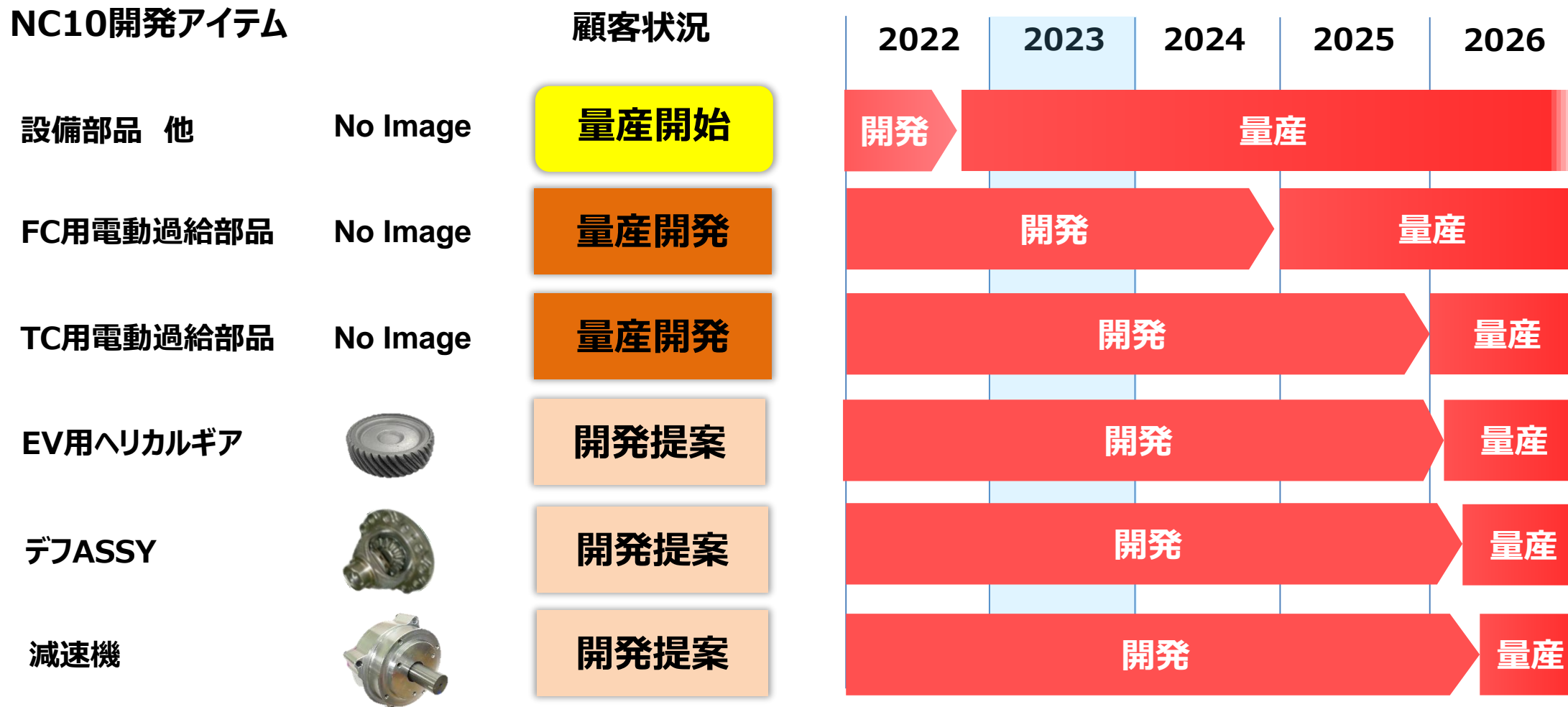
### 顧客状況

底面鏡面化バルブ	量産開始
ハイパー中空バルブ	先行開発
船用中空バルブ	量産開発
GHG対応バルブ	量産開発
船用油圧リフター	量産開発
船用ウェーブバルブ	開発提案



- ハイパー中空バルブはTier4対応での引き合いあり
- 船用中空バルブ、GHG対応バルブも2024年以降の量産化を目指す

## 2-11. VISION II (EV領域)の開発状況



- 設備部品等は既に量産を開始しており、更なる受注が決定、増産傾向にある
- FC用電動過給部品は量産延期、一方でTC用電動過給部品の新たな引き合いあり

# 2-12. 減速機(Nixtroid) について

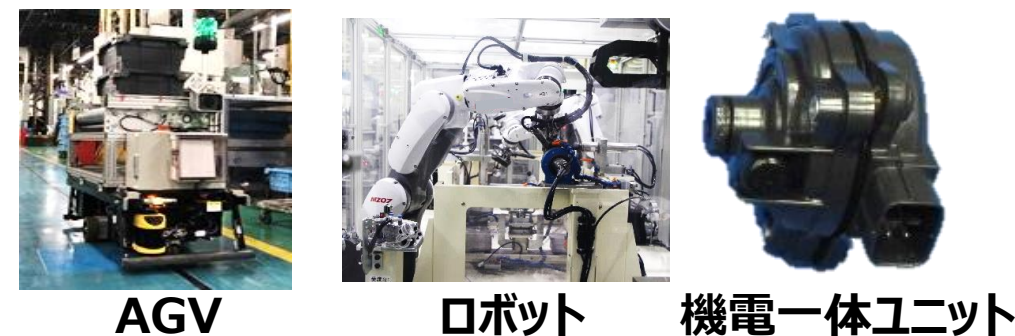
## 電動アシスト自転車向け 電動ユニットサイズ比較



## 高効率タイプ減速機ニーズが高い

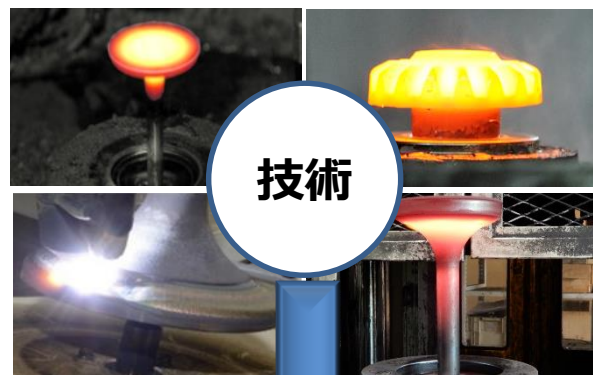


## 高精度タイプ減速機ニーズが高い



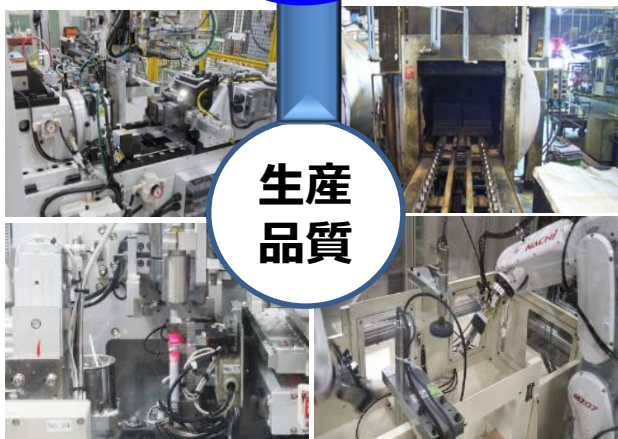
■ 小型減速機はコンパクトかつ高トルク対応で他社と差別化し、ニーズに合わせた開発を推進していく

# 2-13. 電動過給部品について



技術

コア技術

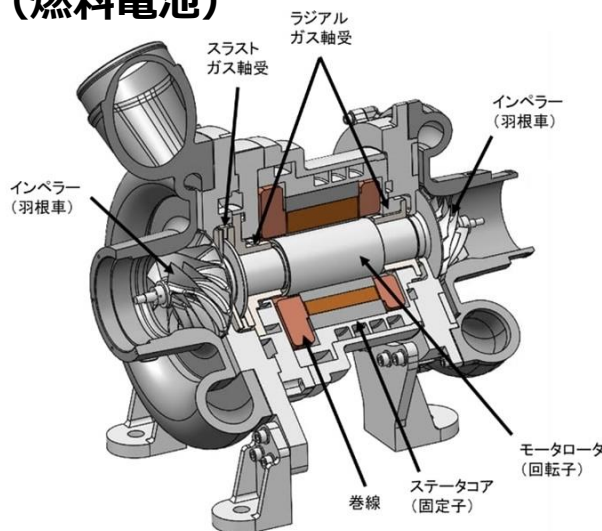


生産  
品質

TC (ターボチャージャー)



FC (燃料電池)



引用: デイリーEVヘッドライン [2023.06.28] (ev-times.com)

既存領域



乗用車(ICE)



船舶



商用車



発電機

新規領域



FCV

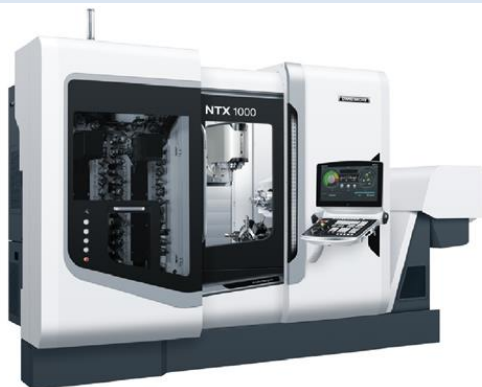


航空機

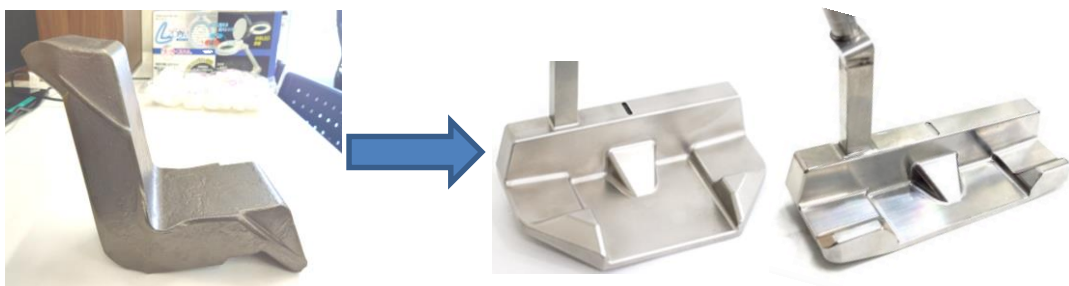
■ NITTANのコア技術をFC用・TC用電動過給部品に活かし、お客様のニーズに貢献していく

## ■ NITTAN ゴルフパター プロジェクト

パター加工設備（複合加工機）



鍛造素材を使い複合加工機とマシニングで加工実施



- 高精度鍛造及び加工技術を駆使し、打音に拘った2種類のパターモデル完成  
パター名：奏（KANADE）

## ■ NITTAN スマートアグリ プロジェクト

社内製栽培キット製作（試作モデル）

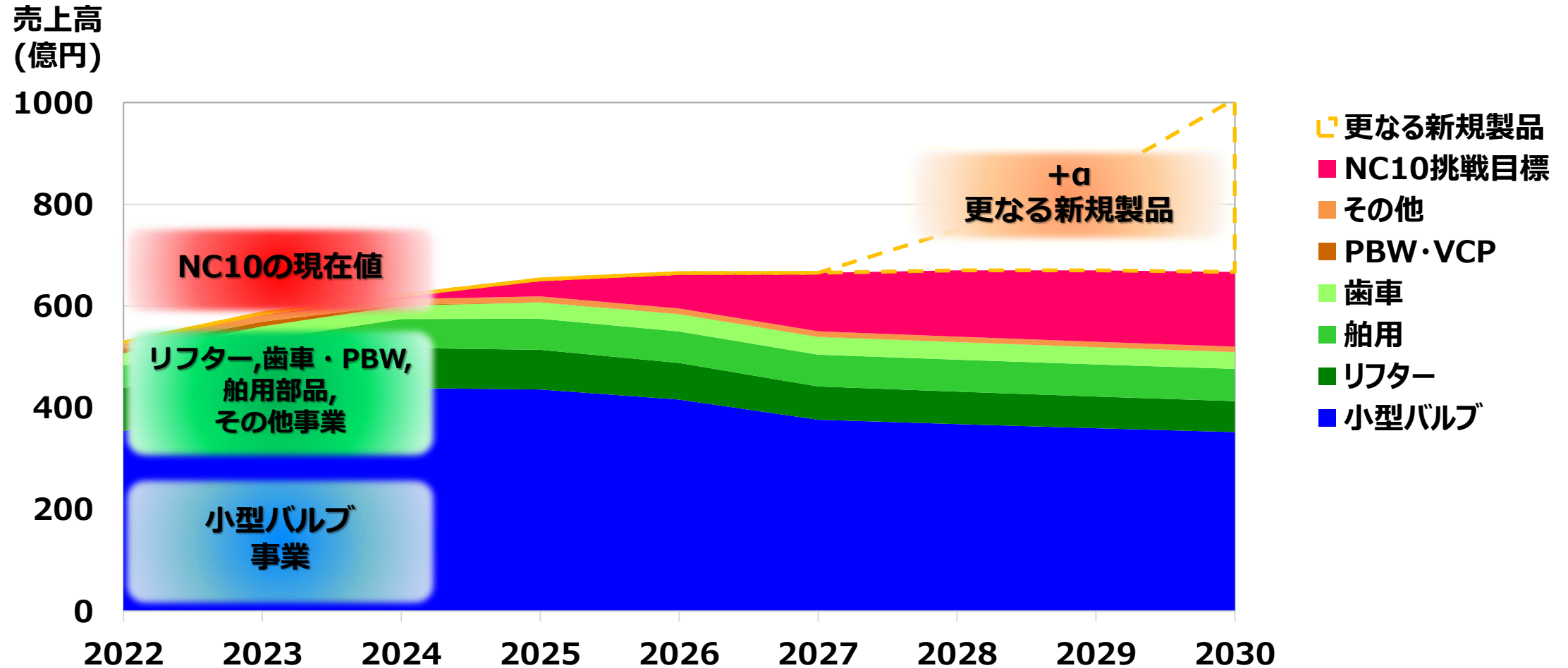


種まきから収穫までをプロジェクトメンバーで実施



- 目で楽しんで、食して満足できるリーズナブルな水耕栽培キットの開発を目指して試作中

## 2-15. NC10目標の現在値 (23年9月基準)



- 開発アイテム以外にも、目標達成に向けた新商品アイデア創出活動を進めている
- M&Aによる事業拡大など、NC10目標達成のための企業戦略も視野に入れていく

## 2022年度

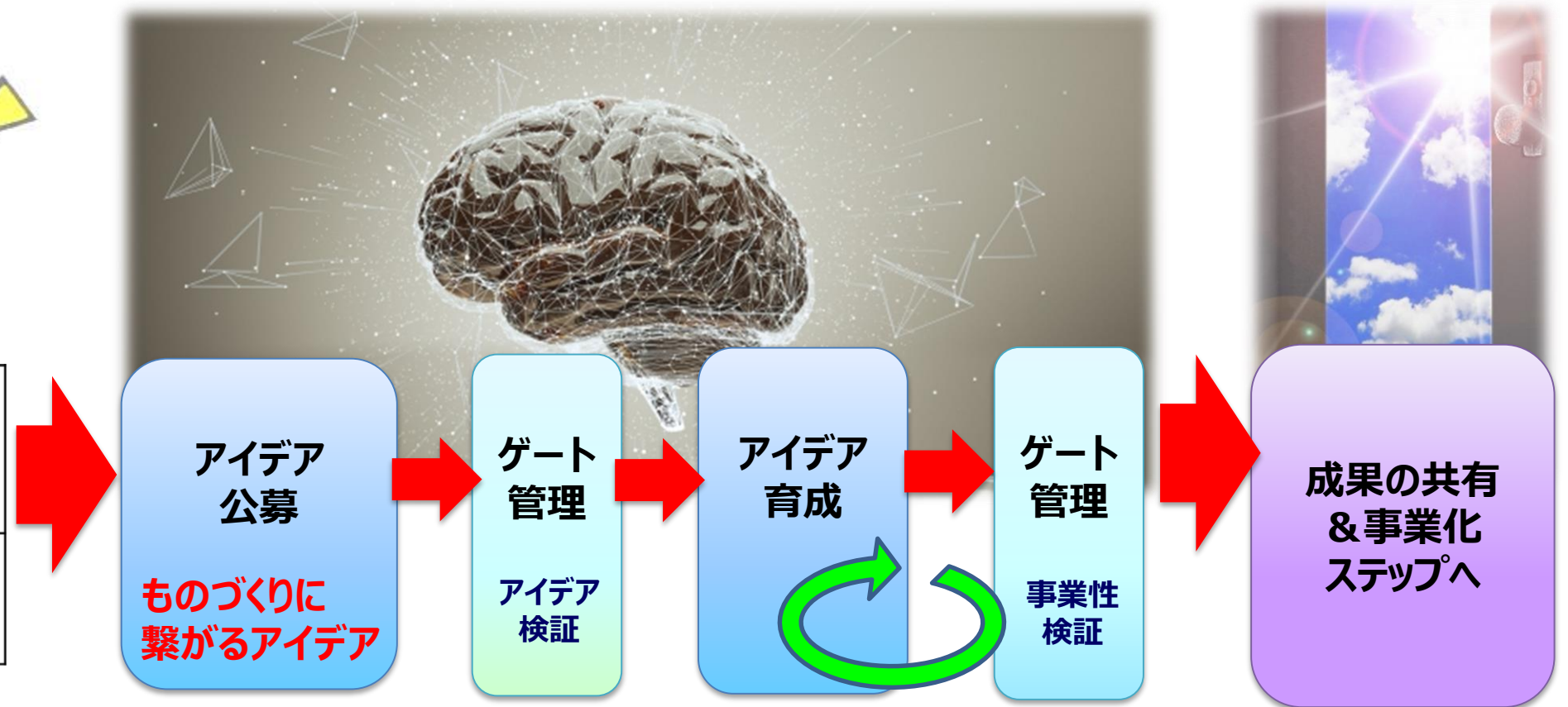
## 2023年度

## 2024年度



再生可能エネルギー ・遊ぶことで 発電できる 遊具	
ペット関連事業 ・トリミング用 ハサミの製造	

開発アイテムには至らず



■ 広い視点で市場調査し、困りごとを解決する手段を具現化して、新規開発アイテムを創出する










# 3-1. カーボンニュートラル達成に向けた取り組み

## ■ NITTAN方針

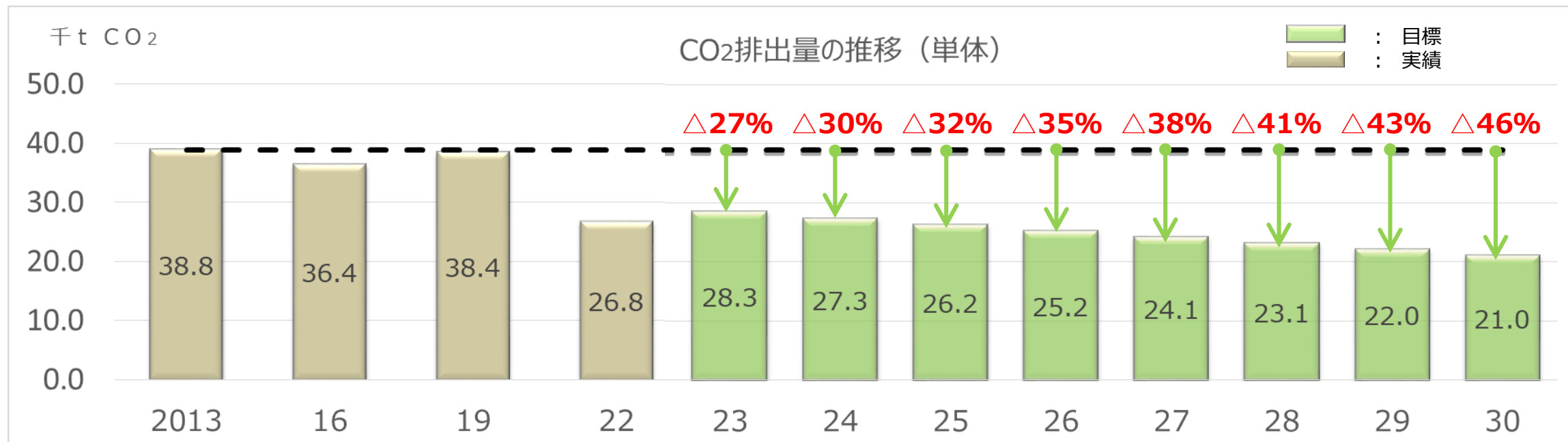
NITTANカーボンニュートラル(NCN)は、世界基準と推進に協調し、NC10と共に実現する  
 日本政府の掲げる目標に準じ、CO<sub>2</sub>排出量を2013年比で2030年までに46%削減することを目標に掲げ、グローバルで展開中

## ■ 主な取り組み (太陽光発電の積極的な活用)

導入済み	行政申請中	計画中	
			
<p>本社工場 正門脇 250w相当</p>	<p>ニッタンベトナム 屋根 378 k w相当</p>	<p>広州日鍛 (中国) 屋根 330 k w相当</p>	<p>本社工場 (厚生棟) 屋上 110 k w相当</p>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>山陽工場 構想中</li> <li>インドネシア 構想中</li> </ul>
<p>ニッタンタイランド 屋根 約512 k w相当</p>	<p>新和精密 (韓国) カーポート 約187 k w相当</p>	<p>本社工場 (技術センター) 屋根 約100 k w相当</p>	

## 3-2. カーボンニュートラル達成に向けた取り組み

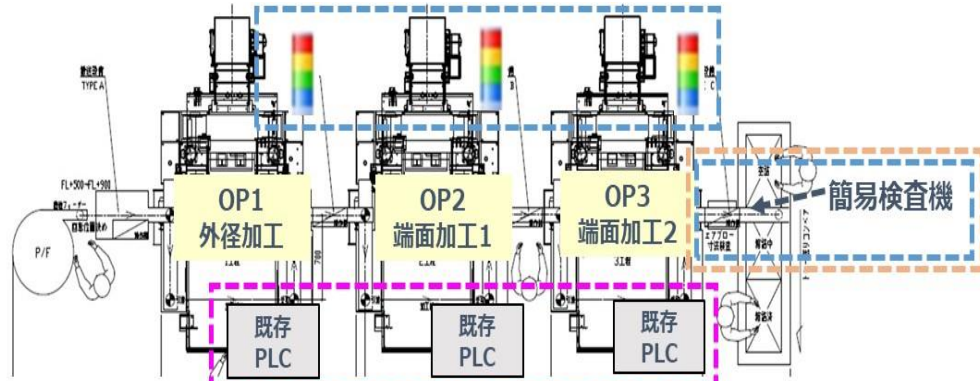
### ■ CO<sub>2</sub>排出量の状況 ( スコープ1・スコープ2 )



- 2023年9月末時点でのスコープ1+2排出量は、19千tであり、昨年度を上回る傾向  
スコープ1は、昨年度と同水準  
スコープ2は、省エネや生産性の向上を上回る生産増加(数量ベースで1.2倍)により上昇傾向
- 省エネや生産性向上活動による年間1%前後の原単位改善を現在実行中  
また、再生可能エネルギーの利用を含む非化石証書等による年間2%前後の改善を検討中

# 4-1. DXを活用したスマートファクトリーへの挑戦

## 山陽工場 MES活用による生産ライン効率化



### 【OEE関係】

- ・生産数
- ・時間稼働率
- ・性能稼働率
- ・良品率

√タブレット端末表示  
√データ蓄積

### 【設備予知保全】

- ・主轴回転数傾向監視/アラート
- ・モーター負荷傾視監視/アラート

√タブレット端末表示

### 【不良未然防止】

- ・検査記録傾向監視/アラート

√タブレット端末表示  
√データ蓄積

生産状況・設備停止自動お知らせ・品質チェック回数削減・  
生産管理板の手書き廃止のためのMES構築

## 歯車工場 AI外観検査機の活用



AIソフト



判定アプリ



搬送装置

AI外観検査による品質確認で工程保証度向上の取り組み

■ MESと自動外観検査による品質保証度を高め、稼げる筋肉体質の会社を目指す

## 注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在入手可能な情報及び仮定に基づき記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ

株式会社NITTAN 総務部

電話：0463-82-1311      F A X：0463-82-7413

U R L：https://www.niv.co.jp

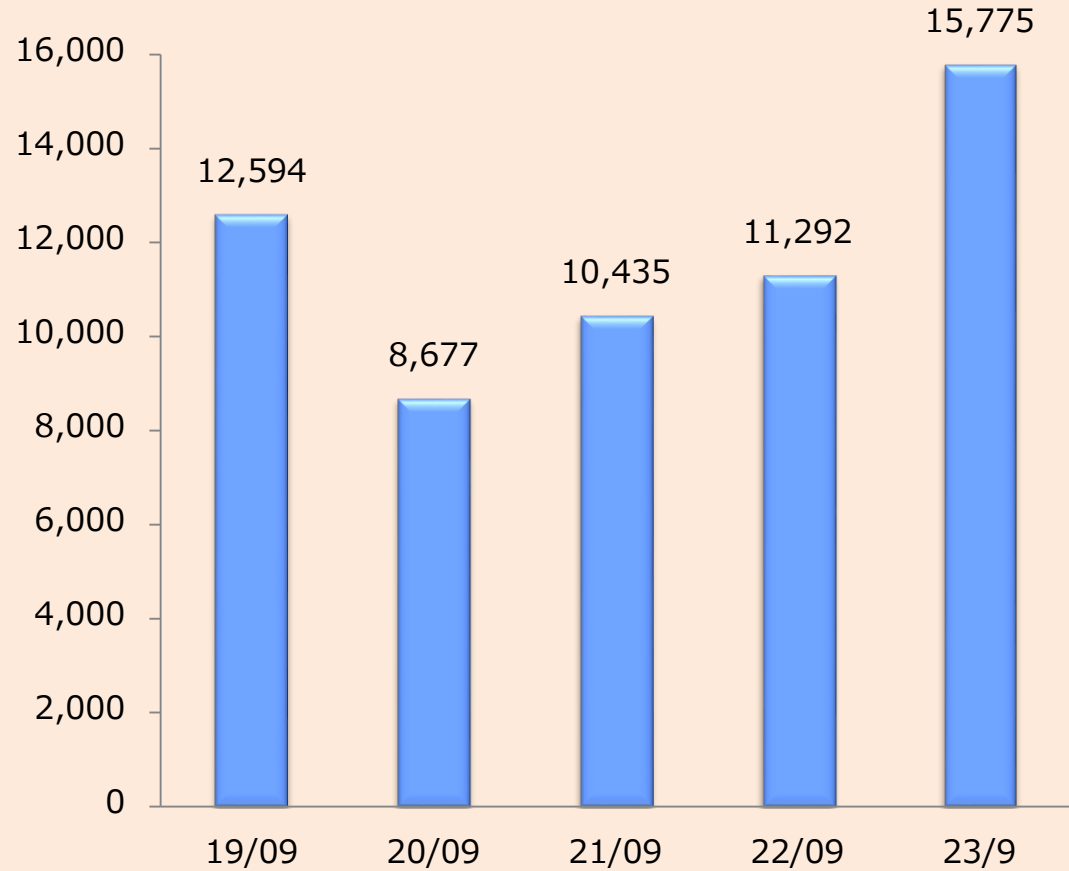


# ご参考：小型エンジンバルブ 売上動向



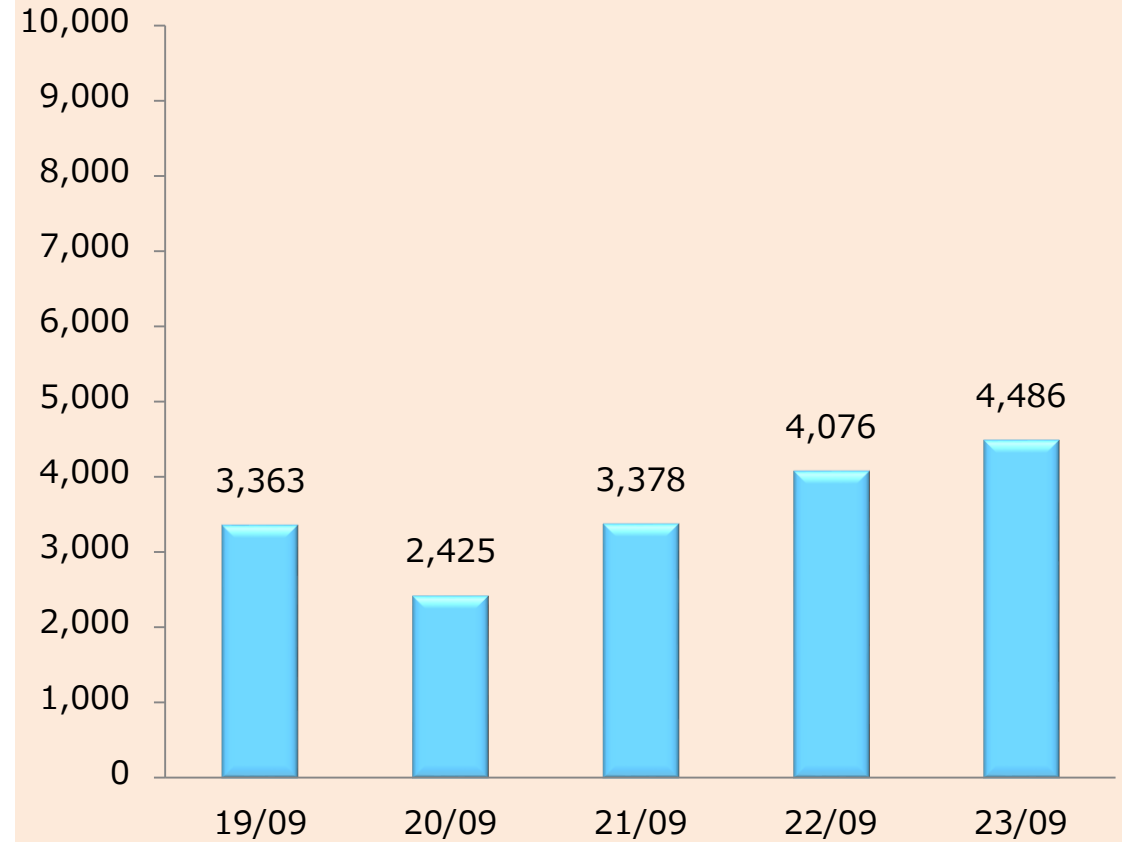
## 4輪車用エンジンバルブ

(単位：百万円)



## 2輪車用エンジンバルブ

(単位：百万円)



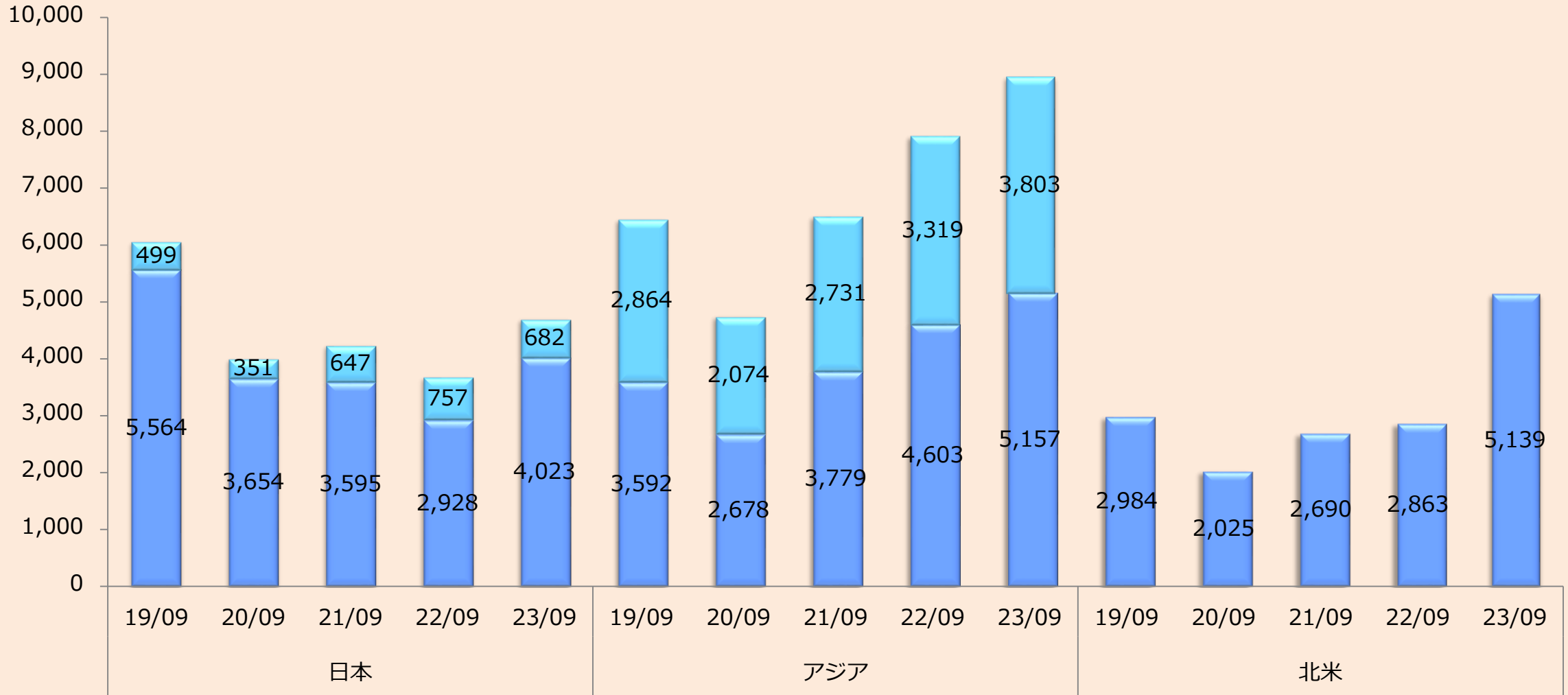
注：連結消去前の数値により集計しております。

# ご参考：所在地別エンジンバルブ売り上げ動向



(単位：百万円)

■ 4輪 ■ 2輪



注：連結消去前の数値により集計しております。また、欧州（4輪）は省略しております。